

2024年度
事業概要

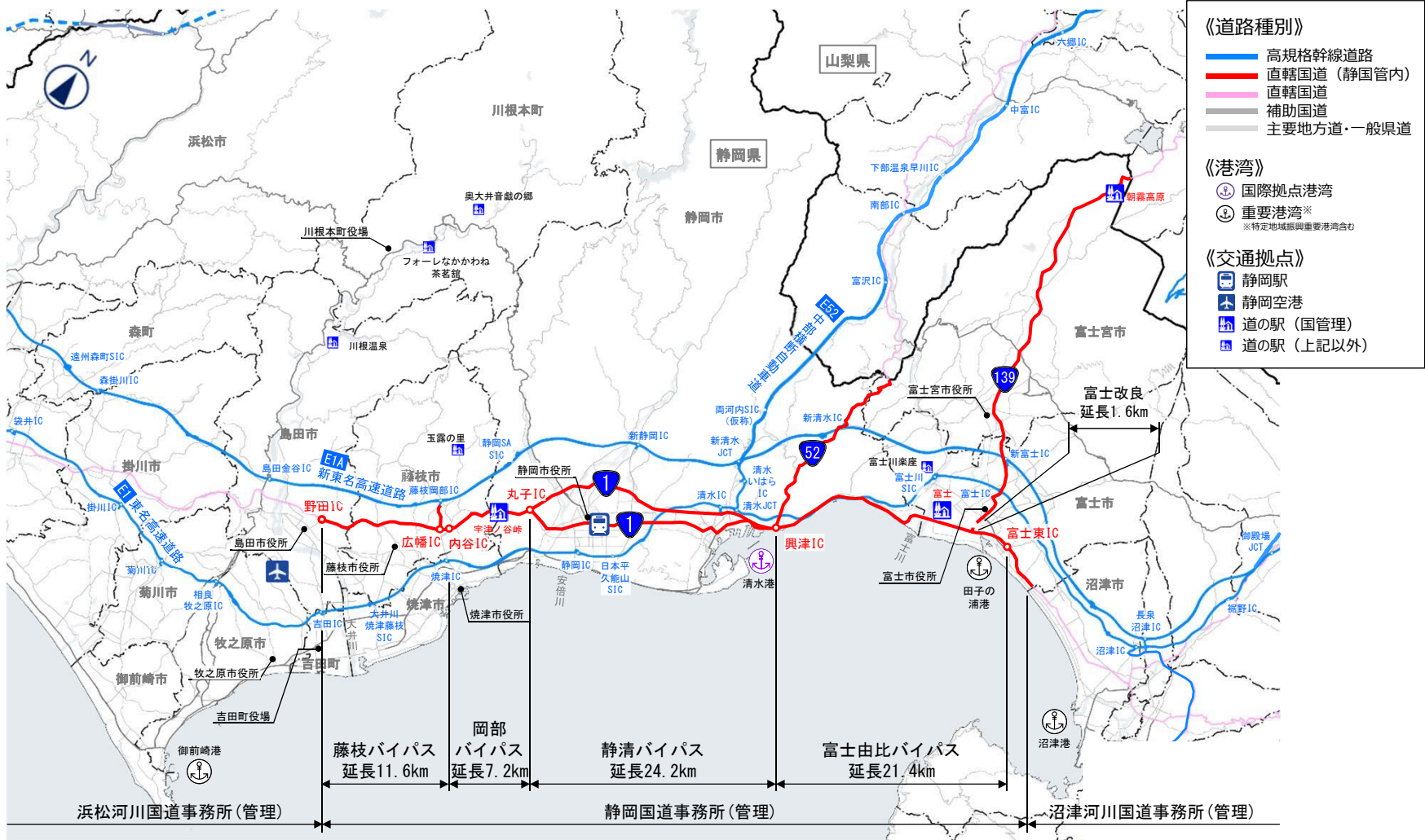
2024年4月

国土交通省 中部地方整備局
静岡国道事務所

目 次

1. 静岡国道事務所の管内	1
2. 令和6年度の主な事業	2
3. 令和6年度予算と推移	3
4. 道路ネットワークの機能強化（改築事業）	
国道1号 静清バイパス 清水立体	4
国道1号 藤枝バイパス	8
国道139号 富士改良	10
国道1号 富士由比バイパス（富士立体）	12
5. 管内の将来的なネットワーク機能強化（道路調査）	13
6. 「道の駅」の機能強化	19
7. 道路管理	25
8. 災害への備え	34
9. 交通安全の推進	41
10. 無電柱化の推進	45
11. 標識改善	46
12. 住民参加型の道路管理	47
13. 道路を活かした地域の活性化	49
14. 自転車の利用環境の整備と活用促進	52
15. 地域への情報発信	56
16. 建設業の課題解決に向けた取り組み	57

1 静岡国道事務所の管内



路線名	管理区間		延長 (km)	管理延長内訳			
	起点	終点		静岡国道維持出張所	延長 (km)	富士国道維持出張所	延長 (km)
1号	富士市中里字大角2515番1	島田市野田字鎌研1603番1	(23.4) 92.4	新富士川橋右岸から 島田市野田	(23.4) 80.5	富士市中里から 新富士川橋右岸	11.9
52号	静岡市清水区興津中町字弁天 前622番	山梨県南巨摩郡南部町大字万 沢字境川官有無番地	19.5	静岡市清水区興津中町から 山梨県南巨摩郡南部町	19.5	—	—
139号	富士市中丸字木ノ市28番3	富士宮市根原字豊住176番1	36.9	—	—	富士市中丸から 富士宮市根原	36.9
計			(23.4) 148.8	—	(23.4) 99.9		48.8

※()内書きはダブルウェイ区間の延長。
※計数はそれぞれ四捨五入にしているため、
端数において合計と一致しない場合がある。

2 令和6年度の主な事業

○改築

道路ネットワークの機能強化を図るため、東名高速等の国土軸と拠点都市、港湾を連絡する静清バイパス等の整備を推進

○道路調査、拠点

静岡南北道路長沼立体等の調査や道路ネットワーク上の交通拠点となる静岡駅や「道の駅」の機能強化を推進

○維持修繕

橋梁やトンネル等の道路構造物の維持修繕、長寿命化を図るため点検・診断・補修を進めるとともに、地方公共団体と一体となって道路メンテナンスを推進するための会議を実施

○防災

整備した道路ネットワークを前提に南海トラフ巨大地震時の啓開ルートである「くしの歯ルート」や最新の被害想定を踏まえた具体の啓開計画の検討、実効性の高い啓開訓練等を実施



改築（国道1号藤枝バイパス4車線化事業）



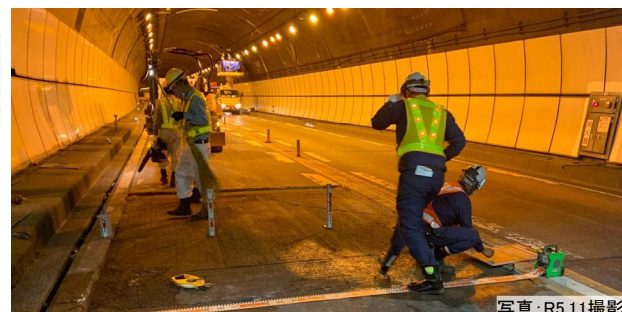
拠点（道の駅「朝霧高原」）



維持修繕（道路メンテナンス講習会）



道路調査（静岡南北道路長沼立体）



維持修繕

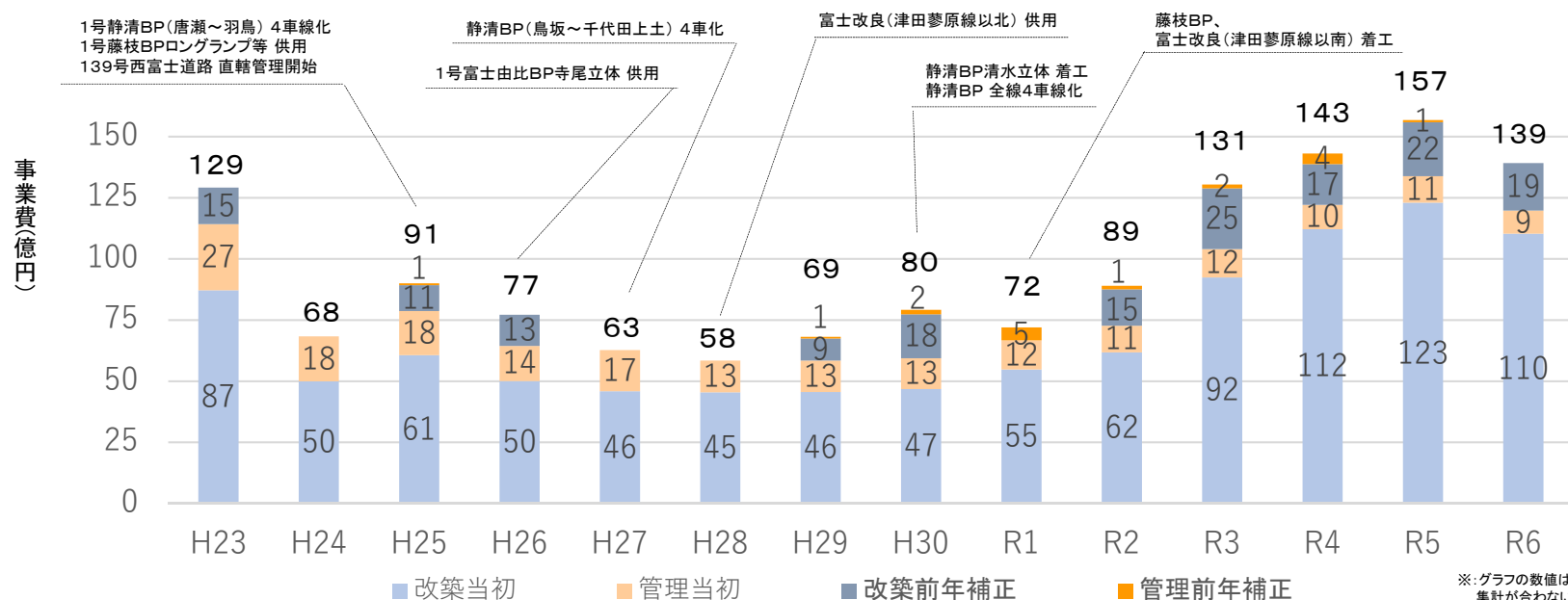


防災（道の駅「宇津ノ谷峠」防災訓練）

3 令和6年度予算と推移

事業名		R3補正	R4当初	R4補正	R5当初	R5補正	R6当初	伸率 (R6/R5)
改築	国道1号 静清BP	936	7,721	670	7,921	940	6,630	0.88 0.84
	国道1号 藤枝BP	730	2,624	1,535	2,854	1,000	2,854	0.88 1.00
	国道1号 富士由比BP	0	28	0	28	0	27	0.96 0.96
	国道139号 富士改良	0	840	0	1,496	0	1,517	1.02 1.02
	小計 (百万円)	1,666	11,213	2,205	12,299	1,940	11,028	0.89 0.90
管理	無電柱化	274	140	10	214	0	228	1.02 1.07
	交通安全	160	853	75	871	0	721	0.76 0.83
事務所計 (百万円)		2,100	12,206	2,290	13,384	1,940	11,977	0.89 0.89

※:伸率は、下記の通り。
・上段:当初+前年度補正
・下段:当初



4

○令和6年度は、全線にわたり橋梁上部工事を実施するとともに、横砂地区^{よこすな}の改良工事等を実施。



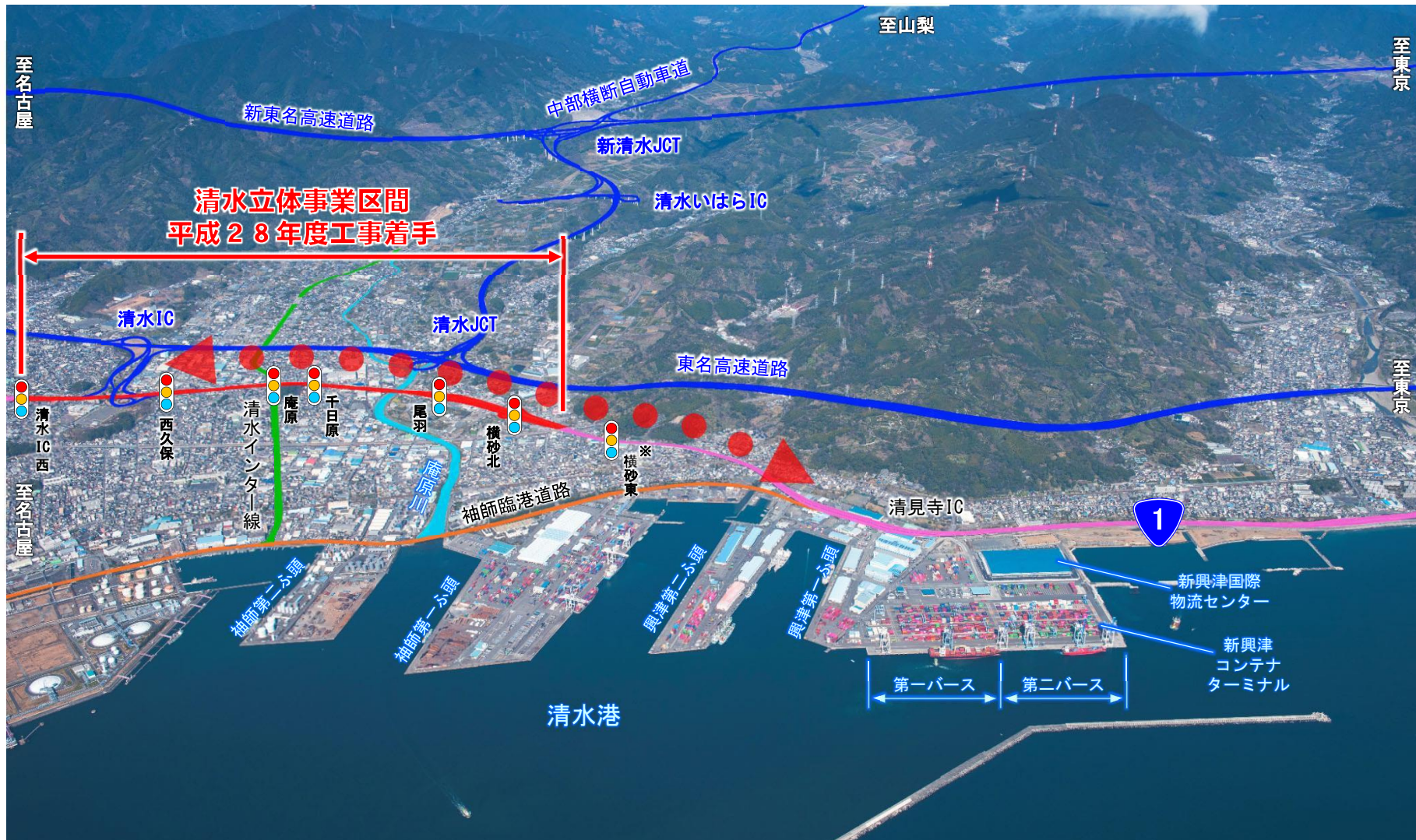
- ## ■清水立体区間の工事状況



4 道路ネットワークの機能強化(改築事業)

○国道1号静岡バイパス 清水立体

○静岡バイパス本線を介して清水港と東名高速道路、新東名高速道路、中部横断自動車道が直結



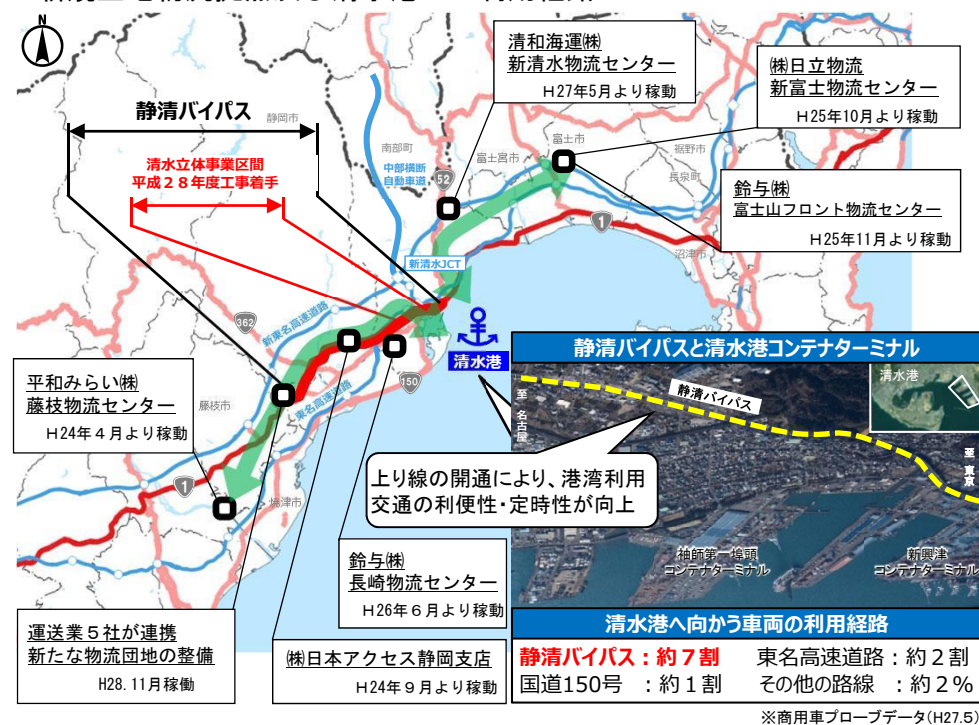
※清水立体事業と合わせ信号撤去予定

4 道路ネットワークの機能強化(改築事業)

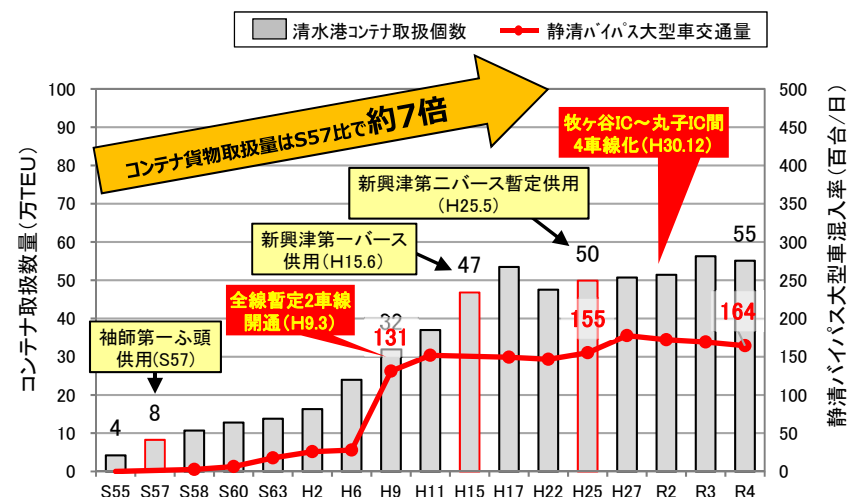
○国道1号静岡バイパス 清水立体 整備効果

- 静岡バイパス沿線には、新たな物流拠点の立地が顕著、バイパス整備と相まって清水港の取扱貨物量は増加
- 清水立体上り線開通により、清水港から物流拠点への輸送時間が短縮し、更なる港湾物流の活性化が期待

■新規立地物流拠点及び清水港への利用経路

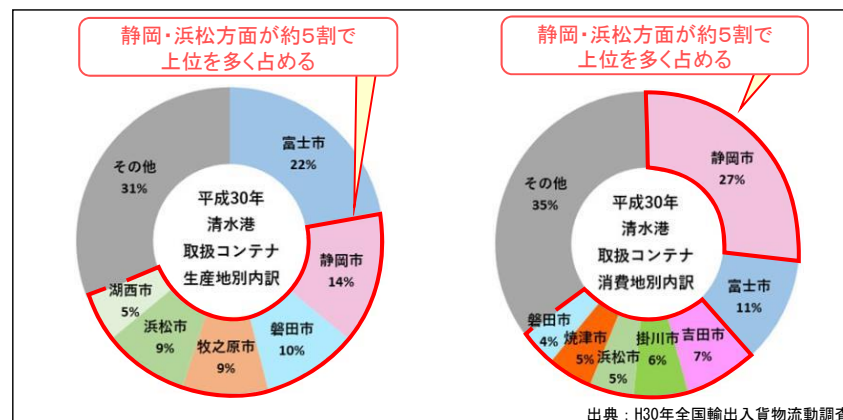


■静岡BP大型車交通量と清水港取扱貨物量の推移



出典: 清水港港湾統計、全国道路・街路交通情勢調査、トラカンデータ

■清水港取扱貨物の生産地と消費地



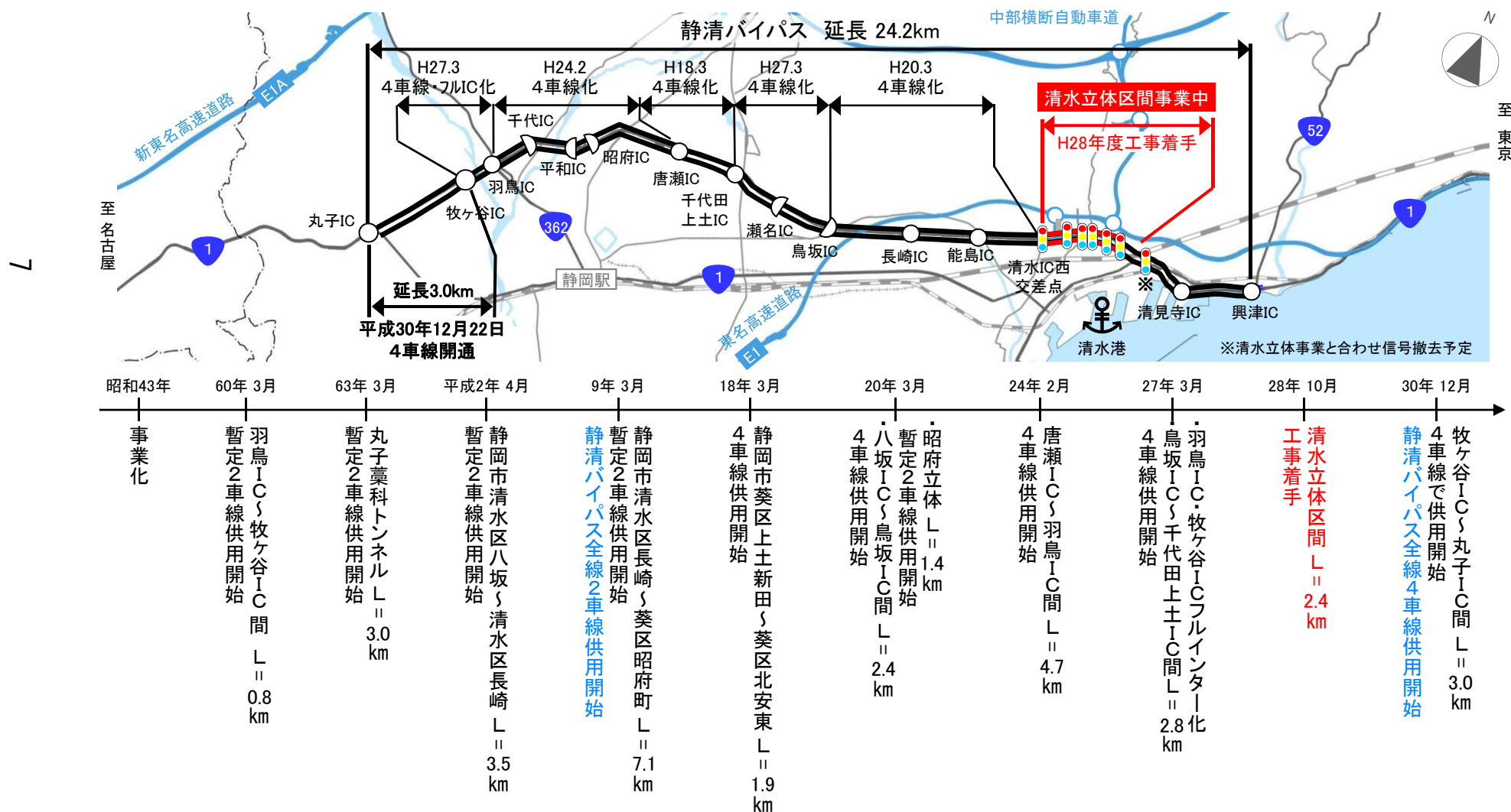
出典: H30年全国輸出入貨物流動調査

4 道路ネットワークの機能強化(改築事業)

○(参考)国道1号静岡清水バイパス事業経緯

○国道1号静岡清水バイパスは、静岡市清水区興津東町から、静岡市駿河区丸子二軒家に至る延長24.2kmのバイパスであり、交通渋滞の緩和、物流効率化の支援、交通事故の削減、災害に強い道路機能の確保、地域企業の産業活動支援を目的に計画された道路

○唯一、平面で残る東名清水IC周辺を高架化する「清水立体事業」を現在推進中



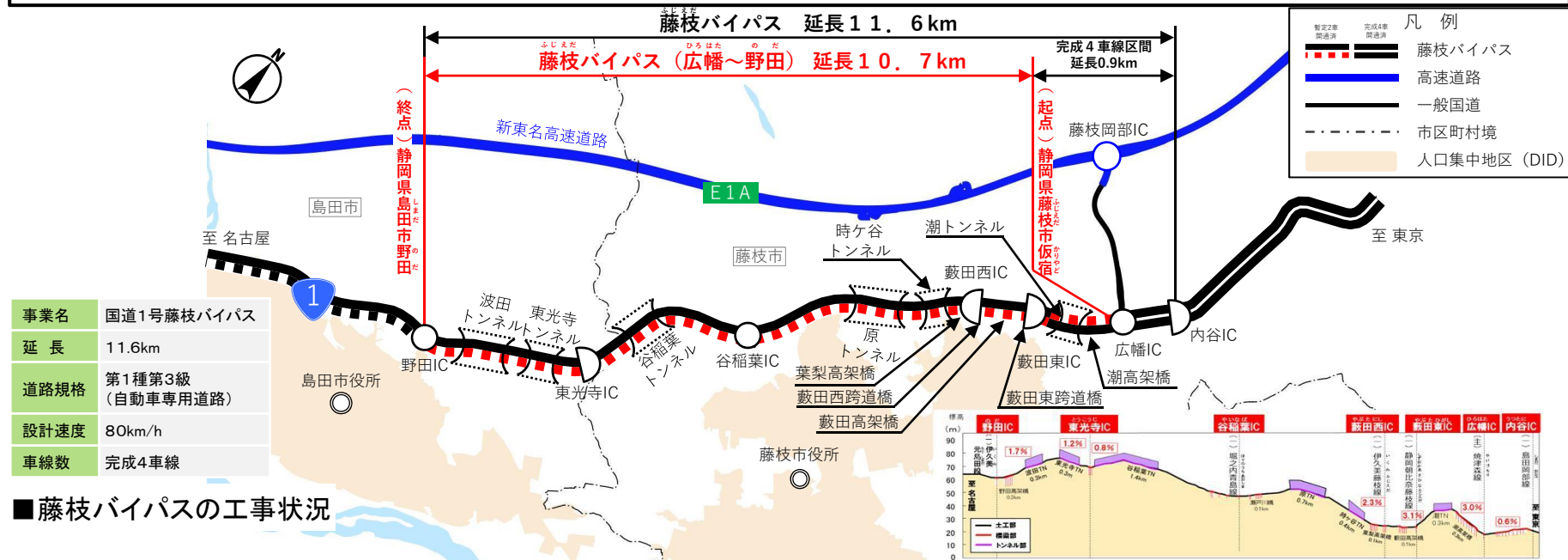
4 道路ネットワークの機能強化(改築事業)

○国道1号藤枝バイパス

○国道1号藤枝バイパスは、交通渋滞の改善を図り、企業活動の支援及び市街地の交通安全確保を目的に平成28年度に4車線化に着手。令和5年度には潮トンネルが貫通し、Ⅱ期線潮高架橋の架設が完了。

○令和6年度は、^{ひろはた}広幡IC～^{やぶたにし}藪田西ICでは^{うしお}潮トンネルや土工区間での舗装工事やⅠ期線^{うしお}潮高架橋の上部拡幅工事を実施。今後、4車線化に向け走行車線の切り回しを順次実施予定。

○^{やぶたにし}藪田西IC～^{やいなば}谷稲葉ICでは^{はなし}葉梨高架橋下部工を実施。谷稲葉IC以西では調査設計を推進。



令和6年度の主な事業内容

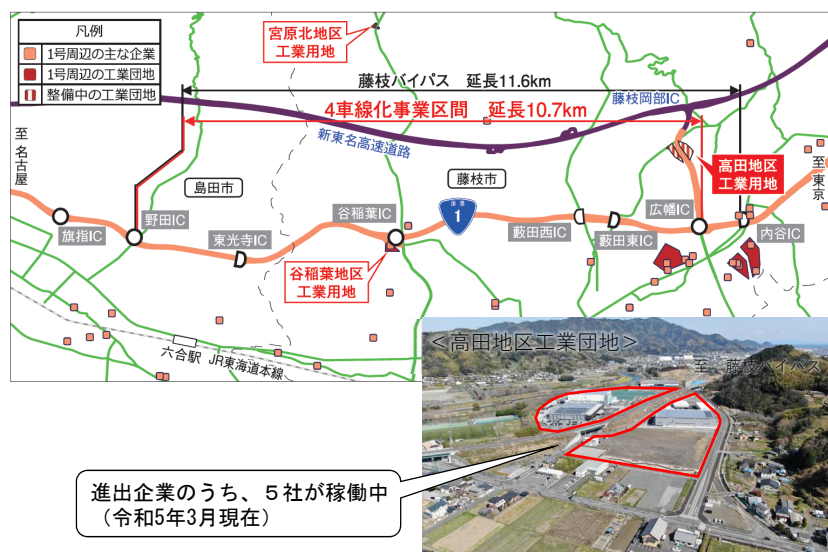
- ◆ 調査推進 : 測量、水文調査、道路設計、調査設計(協議用資料作成等)
- ◆ 用地買収推進: 原地区ほか用地買収
- ◆ 工事推進 : 潮トンネル工、仮宿地区ほか改良工、潮高架橋ほか上部工、潮地区ほか舗装工、葉梨高架橋下部工

4 道路ネットワークの機能強化(改築事業) ○国道1号藤枝バイパス 整備効果

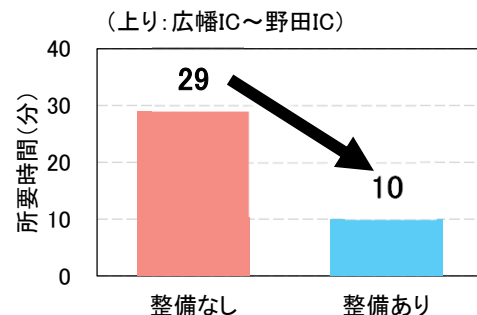
渋滞緩和により、企業活動を支援

- ・4車線化により渋滞が緩和され、広幡IC～野田IC間の所要時間が短縮
- ・渋滞緩和により、地域の円滑な企業活動を支援するとともに、さらなる経済発展を支援

■ 藤枝市・島田市の物流輸送を支える藤枝バイパス



■ 藤枝バイパス4車線化による時間短縮効果



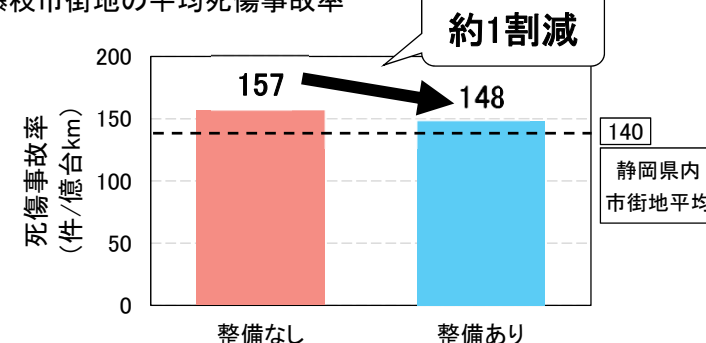
藤枝バイパス全線
4車線化により
約19分短縮

現況 : ETC2.0データ(R4.10平日)ピーク時旅行速度、整備後: 藤枝バイパス事業区間は60km/hで算出

生活の安心・安全を守る

- ・4車線化による渋滞緩和に伴い、県道や街路から藤枝バイパスへ車両の転換が図られる事で、市街地の死傷事故率の低下が期待

■ 藤枝市街地の平均死傷事故率



・平均死傷事故率

現況: 交通事故統計データベース(H30～R3年平均)

整備後: 交通量配分結果より整備前後の変動率を算出し現況に乗じて算出

・市街地定義: 代表沿道状況が「人口集中地区」「その他市街部」の道路

・抽出道路: 国道を除く一般県道・地方主要道を対象

- ・藤枝市立総合病院の30分圏域が拡大し、搬送時間の短縮及び救命率の向上が期待

■ 道路網強化による医療サービスの向上



速度データ: 平日ETC2.0データ(R4.10月)7時台平均旅行速度
 ※整備後: 藤枝バイパス事業区間は60km/hで算出

4 道路ネットワークの機能強化(改築事業)

○国道139号富士改良

○国道139号富士改良は、富士市内の南北軸を形成する国道139号と国道1号を接続し、富士市街部の交通混雑の緩和を図ることを目的に、平成5年度に着手。平成28年3月に(都)津田蓼原線以北を供用。

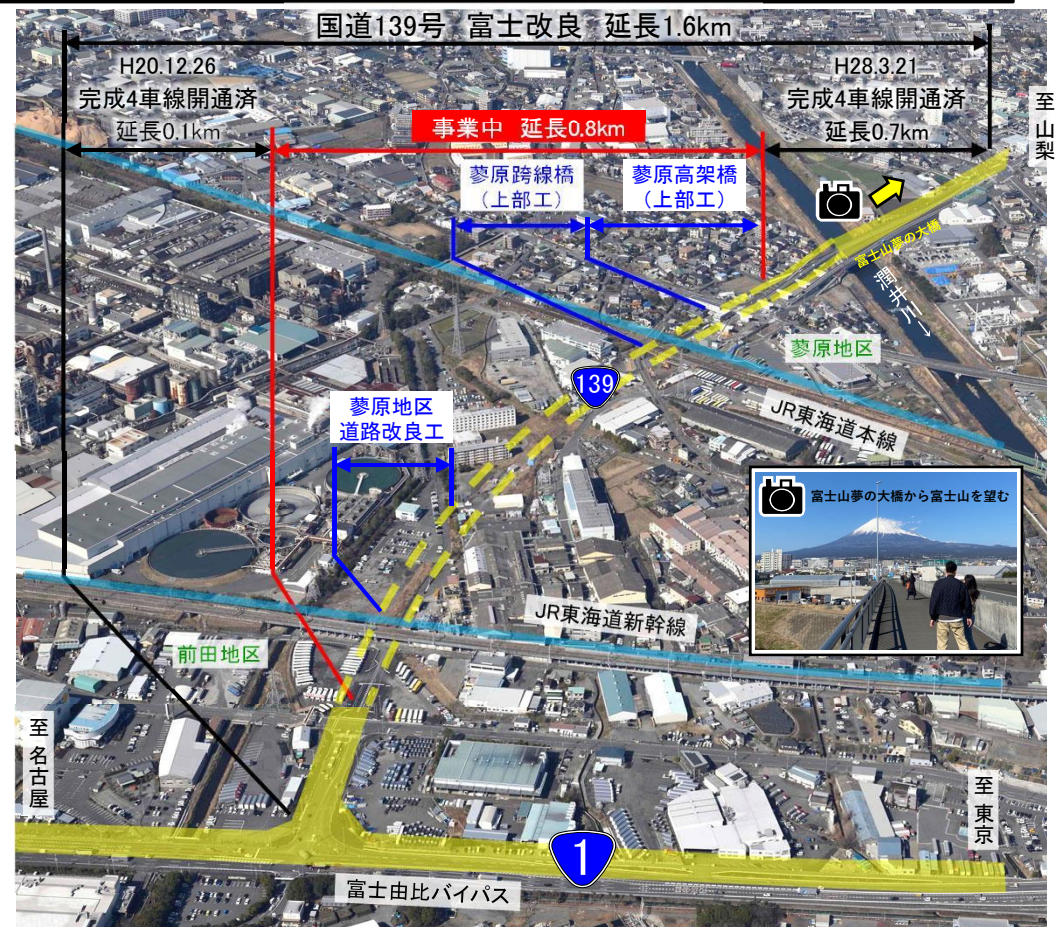
○令和元年度に蓼原高架橋の下部工事に着手。令和2年度に大型の移転補償契約、令和3年度に鉄道委託協定を締結、令和5年度に蓼原跨線橋の下部工事や上部工の製作を実施。

○令和6年度は、JR東海道本線を跨ぐ蓼原跨線橋の架設、蓼原地区の改良工、蓼原高架橋の上部工の製作を実施。



令和6年度の主な事業内容

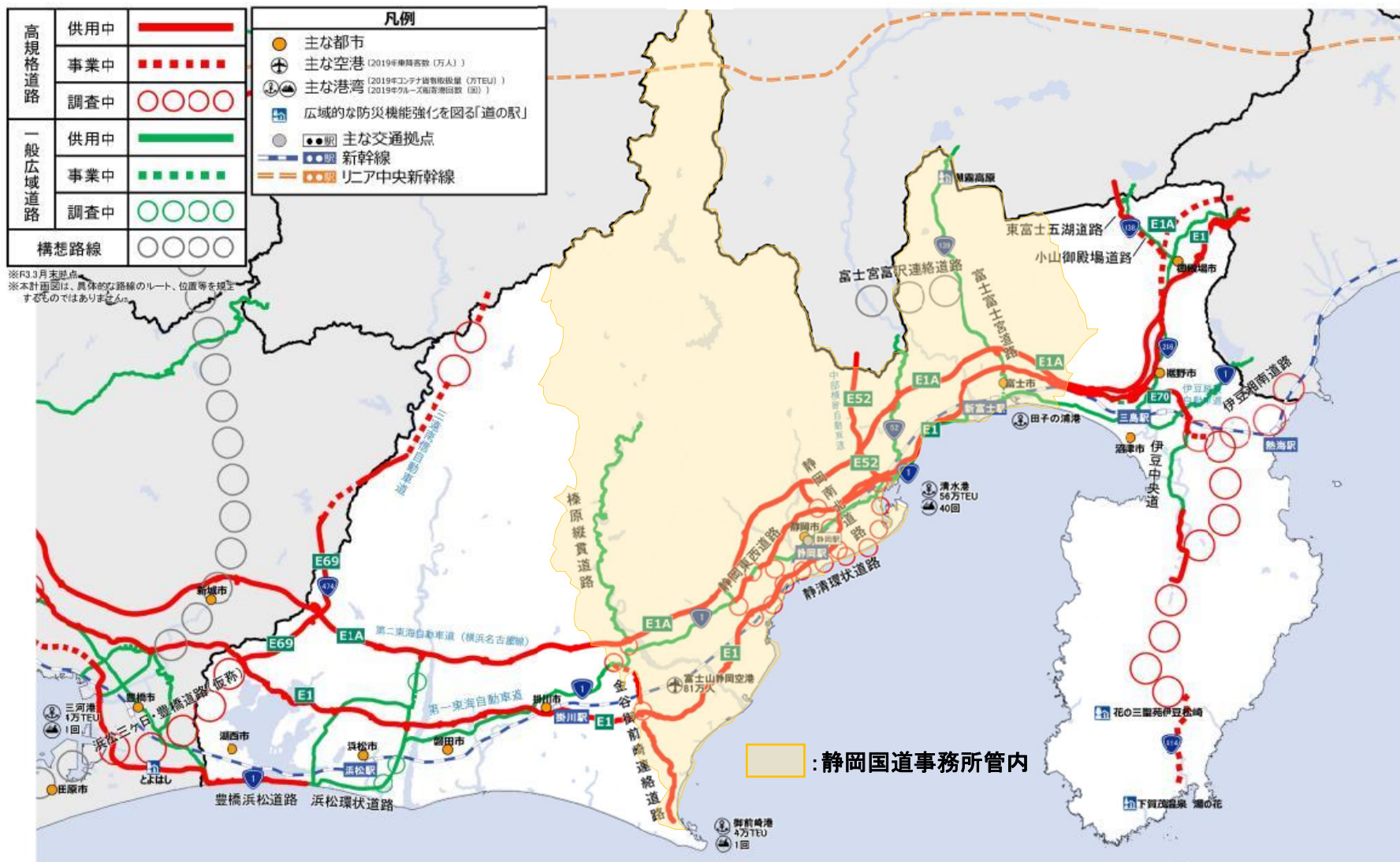
- ◆ 調査推進 : 調査設計(協議用資料作成等)
- ◆ 用地買収推進 : 蓼原地区移転補償
- ◆ 工事推進 : 蓼原跨線橋ほか上部工
蓼原跨線橋ほか下部工、蓼原地区改良工



5 管内の将来的なネットワーク機能強化(道路調査)

○新広域道路交通計画・管内調査箇所

○中部ブロックの将来像の実現に向けて、広域道路ネットワーク、交通・防災拠点、ICT交通マネジメントの3つの観点から、令和3年3月に新広域道路交通計画(中部ブロック版)を策定。令和5年4月1日に更新



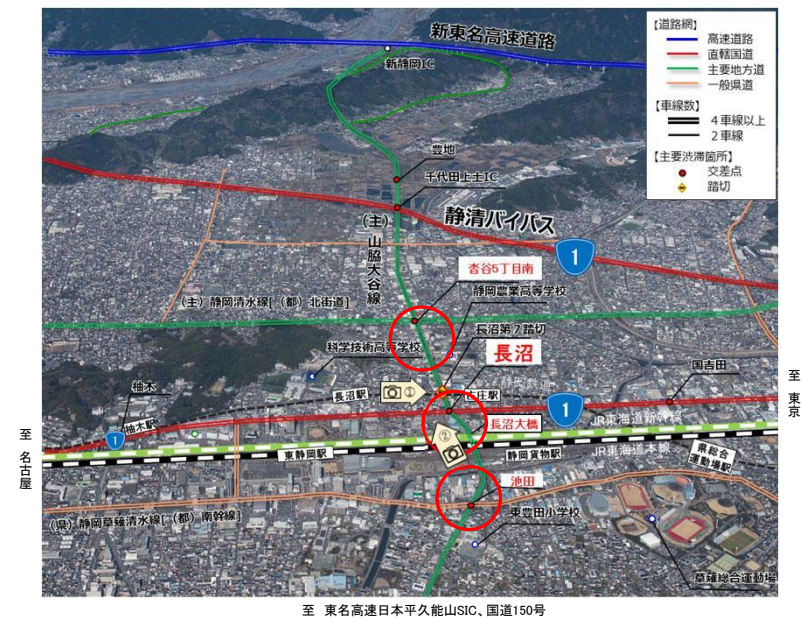
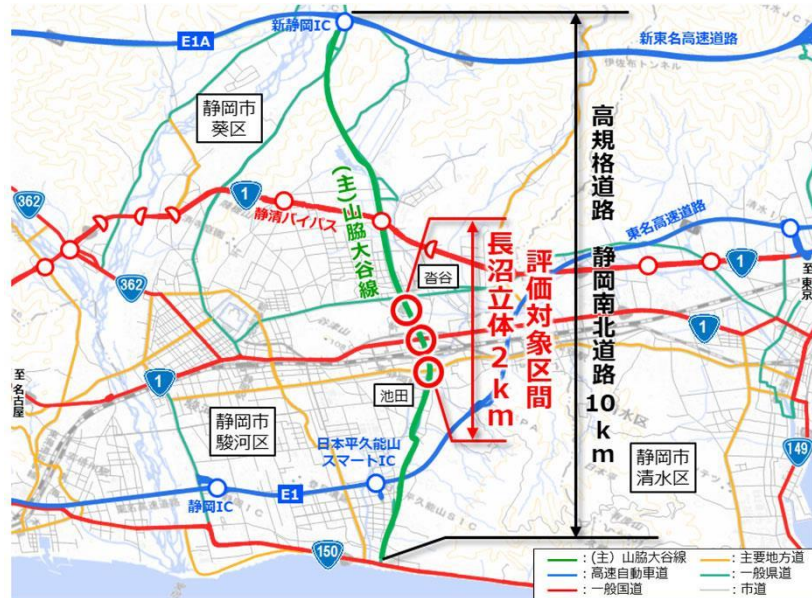
5 管内の将来的なネットワーク機能強化(道路調査)

○静岡南北道路 長沼立体

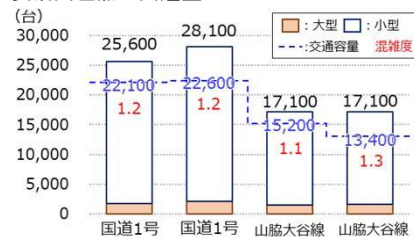
○国道1号と(主)山脇大谷線が交わる長沼交差点では、交通集中および交通容量不足により慢性的な渋滞が発生している状況。令和3年8月の静岡県道路交通渋滞対策推進協議会において、静岡鉄道と長沼交差点を跨ぐ(主)山脇大谷線の立体化事業とJRを跨ぐ長沼大橋の架替事業の一体的な実施を、行政機関での機能強化案として確認

○令和4年度より計画段階評価に着手し、令和5年2月には第1回中部地方小委員会を開催、令和5年度は、第1回意見聴取および概略ルート・構造の検討を実施

○令和6年度は、引き続き国・静岡市が連携し、計画段階評価を進めていく



■長沼交差点の交通量



※交通量データ: R元.10.1/(木)12h交通量調査結果

■所要時間(沓谷5丁目南交差点 ~ 池田交差点 約1.7km)



※出典: ETC2.0データ(R3.10月平日)



※写真撮影日: R3.11.11(木)16時台

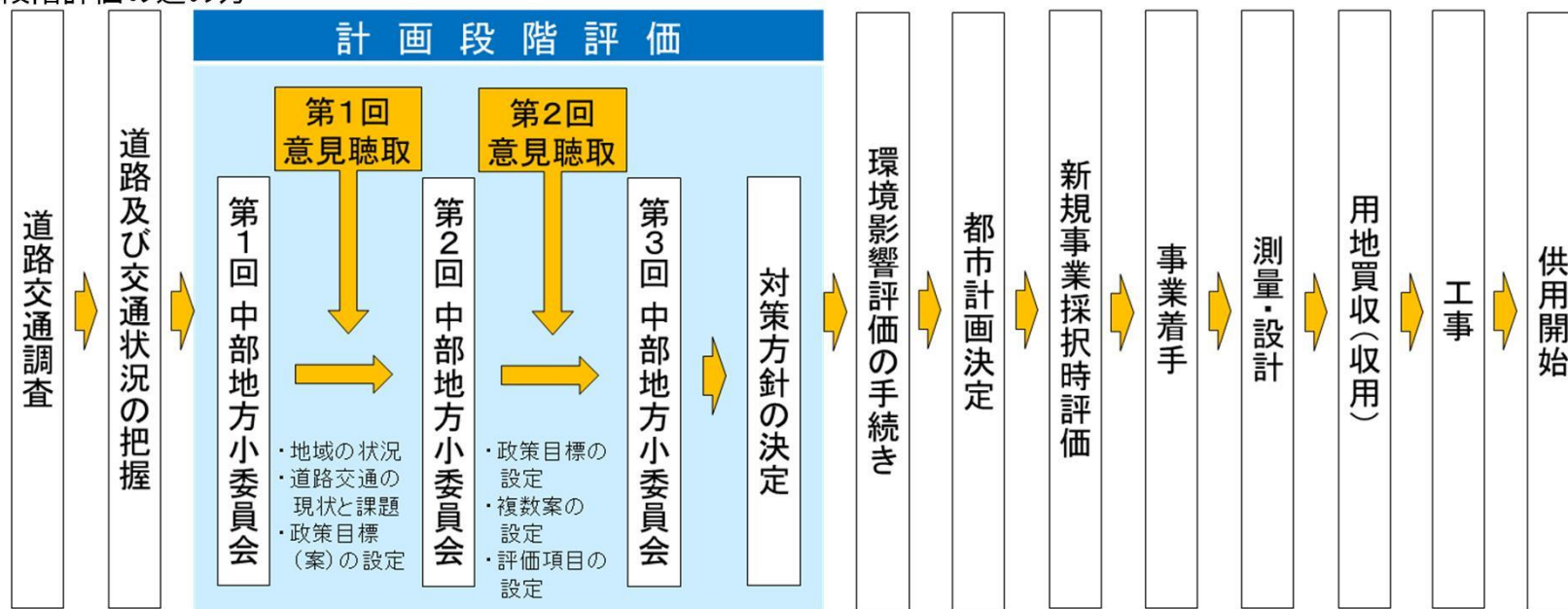


※写真撮影日: R4.8.26(金)18時台

5 管内の将来的なネットワーク機能強化(道路調査)

○静岡南北道路 長沼立体

■計画段階評価の進め方



■長沼交差点周辺における交通課題と政策目標(案)

	課題	原因
渋滞 (都市圏)	○静岡県内ワースト上位の渋滞	○交通容量の不足 ○踏切による交通阻害
物流・企業	○物流ネットワークの速達性が低い	○交通容量の不足 ○信号交差点の連坦
安全	○幹線道路・生活道路で多発する交通事故	○交通の集中 ○生活道路への流入
防災	○災害時におけるネットワークの信頼性が低い	○橋梁の老朽化・不安定な構造 ○代替路の不足

政策目標(案)

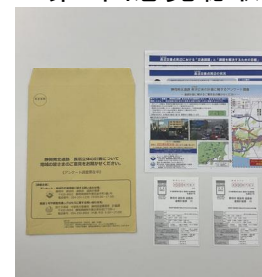
渋滞緩和による
地域交通の円滑化

速達性向上による
産業活性化支援

交通安全の確保

信頼性の高い
ネットワークの確保

■第1回意見聴取



郵送アンケート



オープンハウス



インタビュー調査



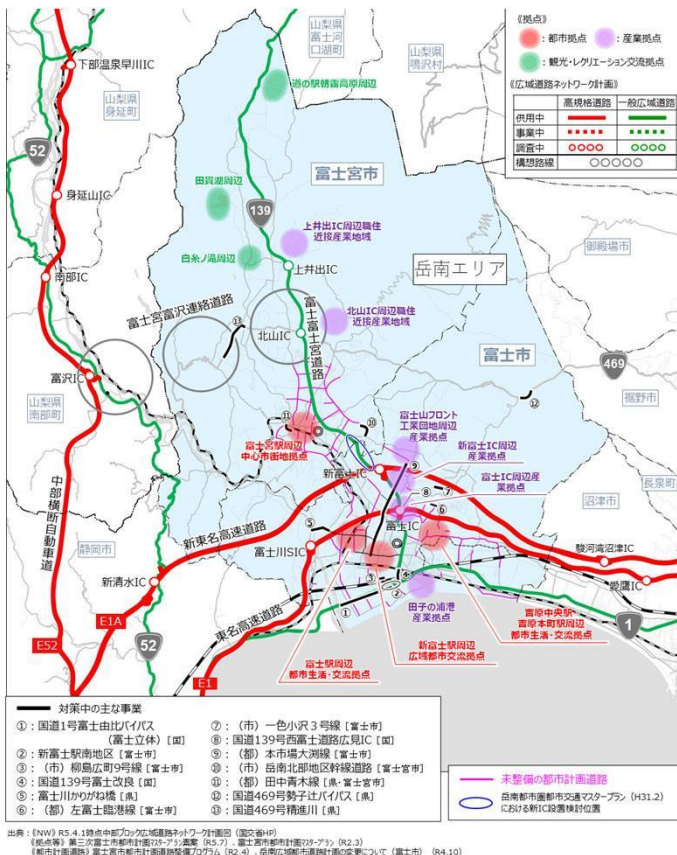
高校生ヒアリング

5 管内の将来的なネットワーク機能強化(道路調査)

○岳南エリアの交通機能強化

- がくなん
- 岳南エリアは、交通・産業・観光面など地域間の結びつき強い中、各市街地の中心部や主要幹線道路で渋滞が発生しており、主要渋滞箇所における渋滞対策の実施・検討が進められてきたものの、渋滞が残る状況
 - 岳南エリアを一体的に整理した交通課題の共有や対策の検討、分析・効果検証を行うため、令和5年度に「岳南エリアWG」を設立し、令和5年11月15日に第1回岳南エリアWGを開催
 - 令和6年度は、引き続き関係機関と連携して、将来の交通課題を定量的に分析し、今後の検討・対策の方向性について議論を進める

■岳南エリアの産業拠点等や道路交通計画の概況



■岳南エリアの主要渋滞箇所



小泉若宮交差点



富士ICオランプ

■第1回岳南エリアWG

○開催日：令和5年11月15日（水）10時～12時

○場所：富士市役所

○議題：

- ・岳南エリアの現状（道路の使われ方、交通課題等）および地域の開発計画や道路計画（都市計画道路、既存の対策など）の共有
- ・将来の道路の使われ方、想定される課題について（意見交換）
- ・今後の進め方について

【構成機関】



【議事要旨】

○地域の開発計画や道路計画の岳南エリアの現状を共有

○交通課題について、渋滞のみならず、地域開発や産業、物流、観光、災害時のネットワークなどの観点や、地域開発による新たな交通課題も含め検討していくことの必要性を確認

○今後、現状・将来の道路の使われ方と交通課題の定量的データ・指標に基づく分析をし、今後の検討・対策の方向性について関係機関と議論していくことを確認



第1回岳南エリアWG(R5.11.15)

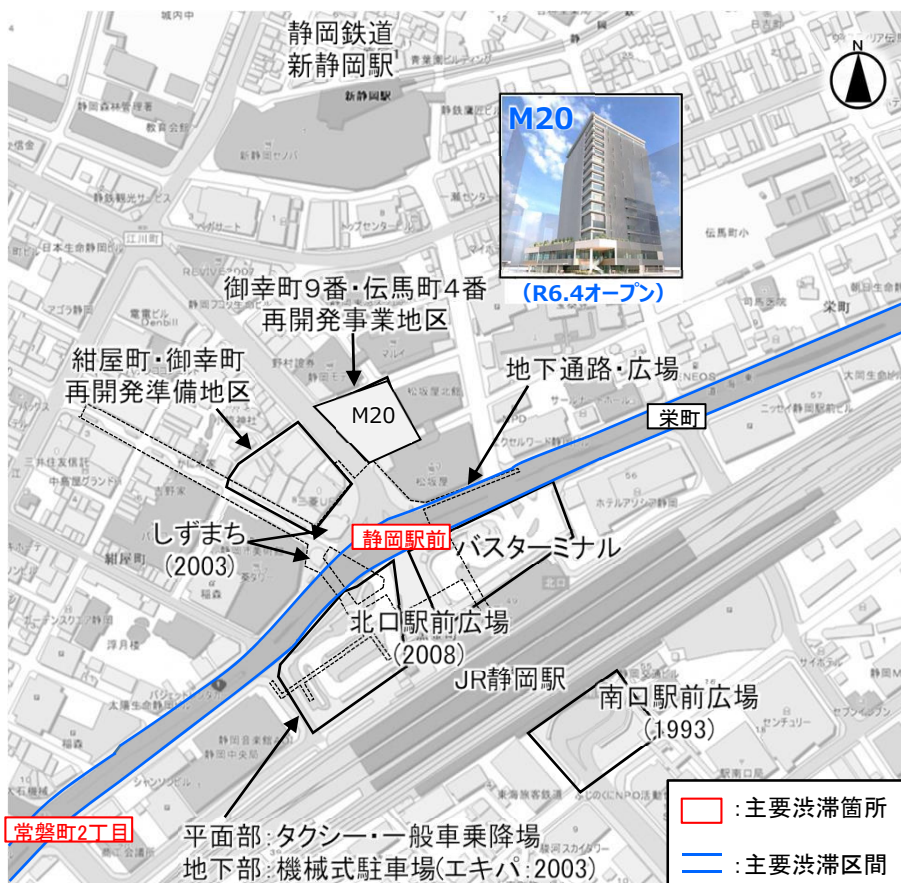
5 管内の将来的なネットワーク機能強化(道路調査)

○静岡駅周辺

○MaaSや自動運転などの次世代モビリティによる交通の技術革新、リニア中央新幹線開業や新型コロナウイルスによる社会構造の変化により、駅周辺の空間活用のあり方を検討する時期を向かえていることを踏まえつつ、交通拠点の機能強化・再編の必要性等を検討

○静岡駅周辺事業者へのヒアリング等からの課題を踏まえて、令和6年度は静岡市と連携し、市の「静岡都心地区まちなか再生指針」の基本計画策定に合わせ、交通拠点の機能強化・再編にあたっての方針を整理

■静岡駅周辺の施設等整備状況



■ヒアリング等からの課題

1. 交通拠点としての機能不足

- MaaS車両の受入空間がない
- 路線バスの乗降場が点在
- 高速バス、観光バスの受入空間が不足
- 交通ターミナルとしての待ち空間がない
- 自転車施策の展開空間がない

2. 静岡駅北口の賑わい不足

- 歩行者が地下道を利用するため、賑わいが不足
- 民間の再開発への対応が必要

3. 施設の老朽化等

- 機械式駐車場の劣化や地下水の漏水など、施設が老朽化
- 地下通路上や地下通路と接続する店舗入口に段差が存在

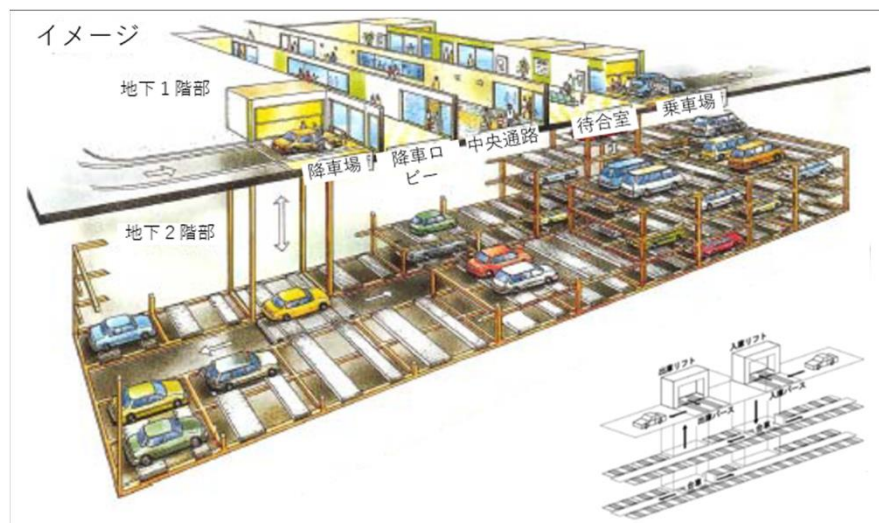


5 管内の将来的なネットワーク機能強化

○静岡駅前地下駐車場(エキパ)

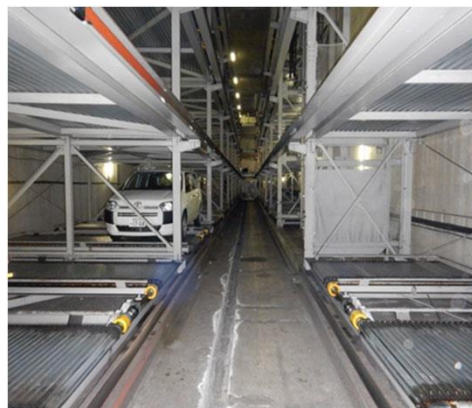
○静岡駅前地下駐車場は、JR静岡駅周辺の慢性的な駐車場不足の解消、道路交通の円滑化等を図ることを目的として、静岡市と共同で静岡駅北口地下駐車場と一体的に整備し、「エキパ」として平成15年10月から運用。

○静岡駅周辺の交通拠点の機能強化・再編の必要性等の検討状況、静岡駅周辺の駐車場整備等の状況、機械式駐車場設備の老朽化を踏まえ、「エキパ」の今後のあり方について検討。



【概要】

駐車型式	機械式駐車場
駐車台数	400台
(内訳)	静岡市：A・Bバース（200台） 静岡国道事務所：C・Dバース（200台）
駐車可能サイズ	車長 5.3m 車幅 1.9m 車高 2.0m 以下
構造	鉄筋コンクリート造 地上1階、地下1階、地下2階（4層）
建築床面積	（延）約10,000㎡

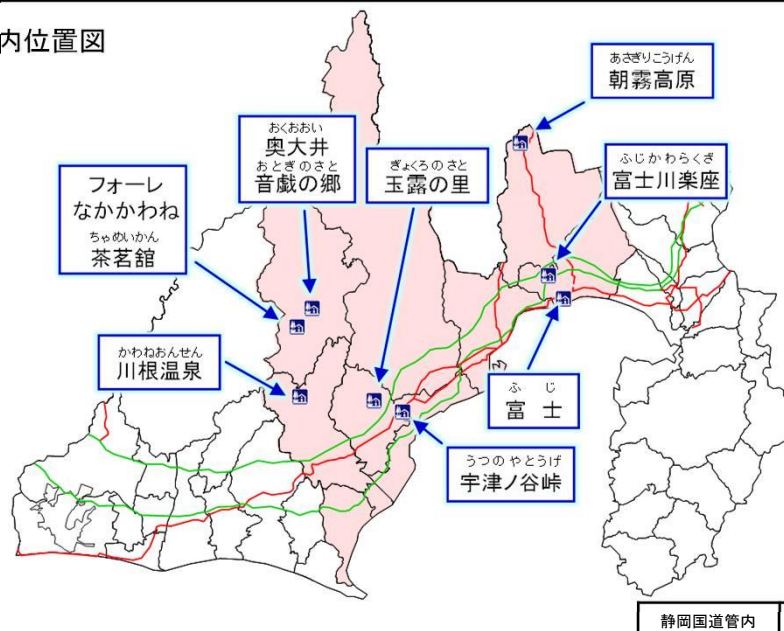


6 「道の駅」の機能強化

○「道の駅」は道路利用者に向けた休憩機能、交通情報や地域情報の発信機能、地域活性化のための交流機能等を提供する施設であり、地方創生・観光を加速する拠点に向けた機能強化を実施中

○令和6年2月現在、全国で1,213駅、管内で8駅が登録

管内位置図



国道1号宇津ノ谷峠(静岡側)



国道139号朝霧高原



国道1号宇津ノ谷峠(藤枝側)



国道1号富士

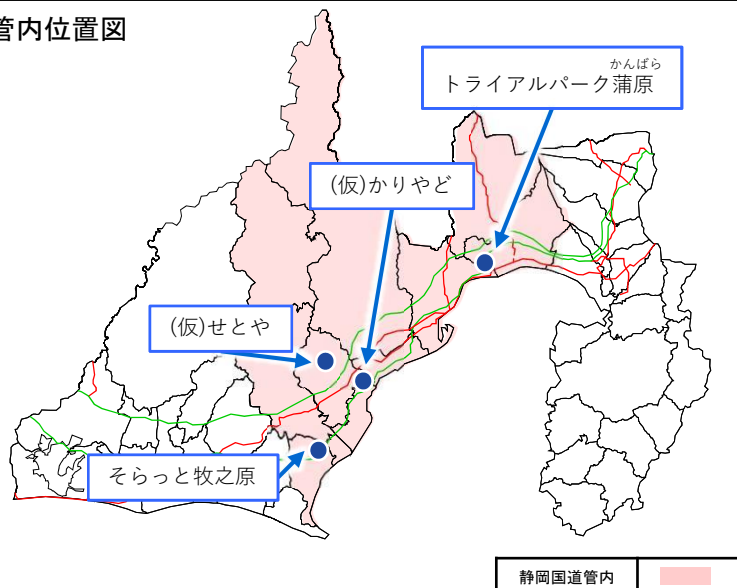
路線名	駅名	設置者	管理運営		駐車マス			登録年月日	整備形式
			管理運営者	契約方法	普通車	大型車	身障者用		
国道1号	ふじ 富士	富士市	富士川まちづくり(株)	指定管理	71	21	2	H5.4.22	一体型
国道1号	うつのやとうげ 宇津ノ谷峠	静岡市	(株)天神屋	委託	46	27	4	H10.4.17	一体型
		藤枝市	(有)ホームタウンよこぞえ	委託	40	5	2		
国道362号	ちやめいかん フォーレなかかわね茶茗館	川根本町	川根本町	直営	36	3	2	H10.4.17	単独型
主要地方道川根寸又峡線	おくおいおとぎさと 奥大井音戯の郷	川根本町	川根本町	直営	85	3	3	H10.4.17	単独型
国道139号	あさぎりこうげん 朝霧高原	富士宮市	(株)富士山	委託	94	12	4	H11.8.27	一体型
主要地方道藤枝天竜線	かわねおんせん 川根温泉	島田市	(株)川根町温泉	指定管理	78	4	2	H11.8.27	一体型
主要地方道富士川身延線	ふじかわらくぎ 富士川楽座	富士市	富士川まちづくり(株)	指定管理	257	9	4	H11.8.27	一体型
(県)静岡朝比奈藤枝線	ぎよくろさと 玉露の里	藤枝市	(株)静鉄リテイリング	指定管理	91	2	1	H11.8.27	一体型

6 事業中・計画中・構想中の「道の駅」等

○管内の下記4カ所で、地域活性化の拠点として道の駅の整備や検討が各自治体にて進められている

○国として道の駅の登録申請に向けた支援を実施するとともに、地域拠点と連携した防災・休憩機能強化を検討

管内位置図



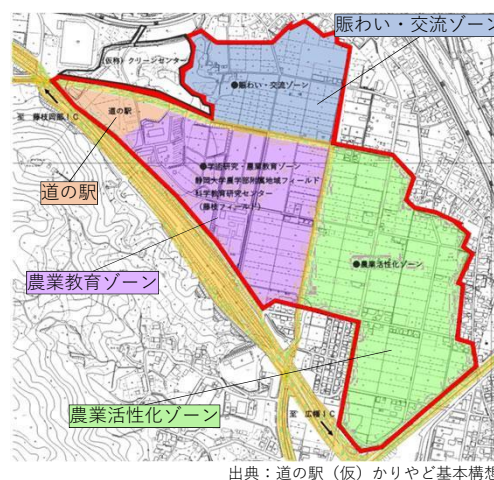
道の駅「そらっと牧之原」



道の駅「(仮)せとや」



道の駅「(仮)かりやど」



蒲原地区で地方創生に取り組む新たな拠点
トライアルパーク蒲原



駅 名	設置者	状況	備考
(仮)せとや	藤枝市	事業中	令和 3 年 3 月 基本構想策定
そらっと牧之原	牧之原市	事業中	令和 4 年 3 月 基本構想策定
(仮)かりやど	藤枝市	計画中	令和 5 年 3 月 基本構想策定
地域拠点 (トライアルパーク蒲原) との連携	静岡市	—	—

6 「道の駅」の機能強化

○「道の駅」第3ステージのコンセプトに基づき、直轄一体型「道の駅」における広域的な防災機能、地域の防災拠点としての運用にあたり、防災倉庫新設などの防災機能の強化、子育て応援等を推進

路線名	駅 名	設置者	防災機能					子育て応援			整備形式
			地域防災計画への位置づけ	BCPの策定	大規模災害時の協定	主な防災施設	防災訓練	授乳コーナー	屋根付き優先駐車スペース	おむつのばら売り	
国道1号	ふじ富士	富士市	一時滞在施設	有	—	非常用発電機 給水設備 (R6.7整備予定)	検討中	有	有	対応	一体型 (静岡国道)
国道1号	うつのやとうげ 宇津ノ谷峠	静岡市	一次避難地 (静岡市)	有	有	非常用発電機 給水設備	実施	有	有	対応	一体型 (静岡国道)
		藤枝市	緊急避難場所 (藤枝市)	有	—	非常用発電機 給水設備	検討中	有 (R5導入)	—	対応 (R5設置)	
国道139号	あさぎりこうげん 朝霧高原	富士宮市	防災拠点施設	有	有	非常用発電機 給水設備	実施	有	有	対応	一体型 (静岡国道)

防災機能強化の取組

◆非常用発電機（道の駅「宇津ノ谷峠」）
災害時の駐車場やトイレの照明用の電力、
情報提供施設の電力を確保する。



◆給水設備（道の駅「宇津ノ谷峠」）
災害時には、手洗い水やトイレ洗浄水として
利用する。



◆BCP策定・防災訓練の実施
（道の駅「朝霧高原」）

災害時に行うべき行動や、災害時に備えて平常時に行うべき行動をあらかじめ整理し取り決めておく、BCP(Business Continuity Plan＝事業継続計画)の策定、及びBCPに基づく防災訓練の実施など、災害時の機能確保に向けた準備を着実に実施。



◆災害用トイレ（道の駅「朝霧高原」）
災害時には、マンホールの上部に災害用トイレを
設置し、屋外トイレを確保する。



◆救助部隊の拠点
（道の駅「朝霧高原」）
災害時には、復旧車両や各種災害対策車両が集結する拠点となる。



子育て応援の取組

◆24時間利用可能なベビーコーナー
（道の駅「宇津ノ谷峠」藤枝側）



◆おむつのばら売り等の自動販売機
（道の駅「宇津ノ谷峠」藤枝側）



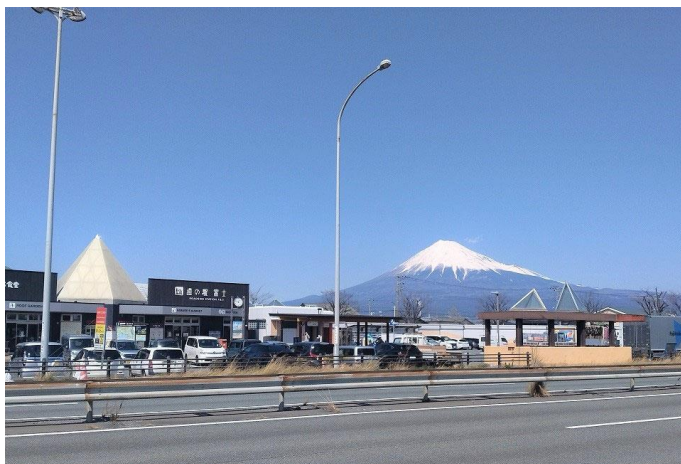
6 「道の駅」の機能強化

○道の駅「富士」

○道の駅「富士」は、道路利用者等の一時滞在施設としての防災機能強化や休憩機能強化を目的に、駐車場（上り線）の拡張、給水施設、非常用自家発電施設等の設置が必要

○令和5年度は、駐車場拡張及びレイアウト見直しによる駐車マス増設、給水施設、非常用自家発電施設の設計とトイレ改修工事を実施。令和6年度は駐車マス増設や防災機能強化の工事に着手予定

道の駅「富士」



駐車マス増設計画

	上り線駐車台数	
	現状	拡張後
小型	45	82
大型	8	18
合計	53	100

※身障者用、二輪車用駐車台数を除く
※拡張後の駐車台数は、協議等により変更となる場合がある

中央分離帯の改良

道の駅「富士」前面の国道1号に転回可能な中央分離帯を導入（R3.8完成）



キャスター付きの
転回可能な中央分離帯

写真位置

防災機能の強化

道の駅「富士」が、富士市地域防災計画において、災害時における道路利用者等の一時滞在施設に位置づけられたことを踏まえ、必要な防災施設を整備
防災施設：給水施設、非常用自家発電施設等



給水施設イメージ



非常用自家発電施設イメージ

トイレ改修（洋式化）

新しい生活様式に対応するためトイレの洋式化を実施（R5.12完成）

改修前

改修後

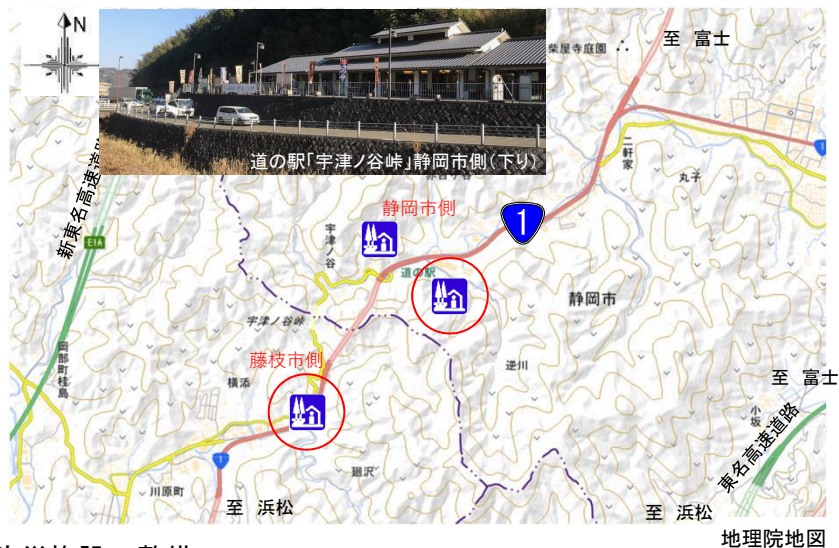


6 「道の駅」の機能強化

○道の駅「宇津ノ谷峠」

○道の駅「宇津ノ谷峠」は、道路利用者等の一時避難地（静岡市）および緊急避難場所（藤枝市）としての防災機能強化や休憩機能強化を目的に、防災施設の整備や画像解析カメラ・予約制駐車場を運用中

○令和6年度は、防災施設を活用した訓練やBCP策定等により災害時の実行性向上を図る



防災施設の整備



防災施設を活用した防災訓練（令和6年3月の実施状況）

○日 時：令和6年3月13日（水）9:00～10:00、13:00～14:00

○場 所：道の駅「宇津ノ谷峠」（静岡市側・藤枝市側）」

○参 加：静岡国道事務所、静岡市、藤枝市
（株）天神屋、（有）ホームタウンよこぞえ



防災倉庫物品確認



衛星携帯電話操作訓練

道路協力団体との連携による長時間駐車対策



※道路協力団体が設置

6 「道の駅」の機能強化

○道の駅「朝霧高原」

- 道の駅「朝霧高原」は、南海トラフ巨大地震発生時の広域応援部隊の進出、広域物資輸送拠点として防災機能強化や休憩機能強化、防災訓練等において、関係機関や地元自治体との連携を行っている
- 休憩機能強化を目的とし、画像解析カメラを設置済。活用に対して地元自治体や地域との意見交換を実施
- 令和5年度は、防災拠点施設の設計を進めており、令和6年度は防災拠点施設の工事に着手予定

道の駅「朝霧高原」周辺



防災訓練

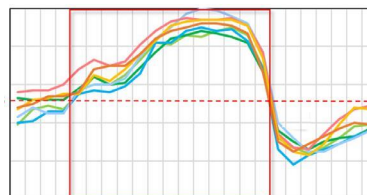


(現地対策本部車を展開しての運用訓練)

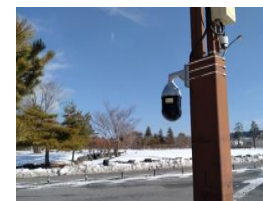


画像解析カメラで得られる情報(駐車場利用状況の可視化)

駐車場(休日)
縦軸：満空率
横軸：時間(24時間)



画像解析カメラ



25

○安全・安心な道路サービスの確保に向け、道路巡回、緊急作業、除草、剪定、路面清掃、照明・設備の保守など日常管理を実施



【機械による路面清掃】

[illegible]

7 道路管理

○道路管理車両

○日常の道路管理、冬期の道路管理や災害対応時の車両を保有・運用

- ・道路巡回車両（パトロールカー）・排水管清掃車・路面清掃車・散水車・凍結防止剤散布車ブラウ付
- ・除雪グレーダー・対策本部車・照明車・衛星通信車

保有する道路管理車両



7 道路管理

○道路情報センター

○道路巡回からの情報に加え、道路監視用カメラ等で24時間365日、常に道路情報を収集し、道路情報板等により速やかな情報発信をすることで、的確な道路管理を実現

○AI技術を活用した画像解析技術を用いた交通障害検知システムの導入を推進

道路情報センターの主な設備

道路監視モニター
（県警本部、静岡市との相互提供）
カメラ制御端末
交通量観測装置端末
道路情報板制御端末 等

道路情報センターの主な業務

○情報収集
道路巡回
道路監視用(CCTV)カメラ(249基)
雨量計(4箇所)、凍結検知装置(2箇所)
関係機関や道路緊急ダイヤル等からの情報提供 等

○情報提供・発信

道路情報板(45基)、津波情報板(3基)
ラジオ再放送設備(9箇所)
公式X(旧Twitter) (@milt_shizukoku)
道路情報提供システム(<https://www.road-info-prvs.mlit.go.jp/roadinfo/>)
道路交通情報センターへの情報提供 等



道路AI検知システムの検出事例



停止車両による滞留発生の検出状況
(国道1号藤枝バイパス原トンネル)

7 道路管理

○道路構造物のメンテナンス

○道路利用者の安全・安心な交通確保のため、道路構造物の点検→診断→措置→記録というメンテナンスサイクルを適切に回すことが重要

○道路構造物の点検は、5年に1度の頻度で実施し、令和6年度より3巡目の点検を開始

○過去2巡の点検結果より、損傷の傾向や特徴から効率的・効果的な措置を実施し、予防保全への転換を推進

■定期点検の実施項目

令和6年度点検対象橋梁：国道1号丸子高架橋、国道1号田子の浦高架橋 等

橋梁点検



橋梁点検車による点検

トンネル点検



リフト車による打音検査

特定道路土工点検



構造物点検



■補修の主な内容

令和6年度補修対象橋梁：国道1号蒲原高架橋、国道1号岳南鉄道跨道橋 等



支承補修



断面補修



当て板補修

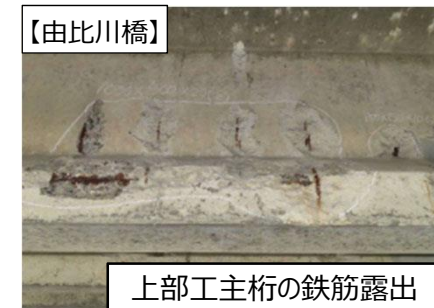
7 道路管理

○塩害への対応

- 静岡国道事務所管内は、富士由比バイパスの海岸沿岸部において複数の橋梁が位置しており、令和5年度までに塩分濃度調査やPC鋼材腐食状況等調査を実施
- 海からの飛来塩分により橋梁のコンクリート内部に浸透し、鉄筋の腐食やうき・剥離などの損傷が発生
- 一度、塩分が浸透すると内部に残留し続け、部分的な補修では劣化が止まらず、抜本的な対策が必要
- 令和6年度は、第三者の有識者を交えた委員会を実施し、抜本的な対策を推進



塩害橋梁の位置図

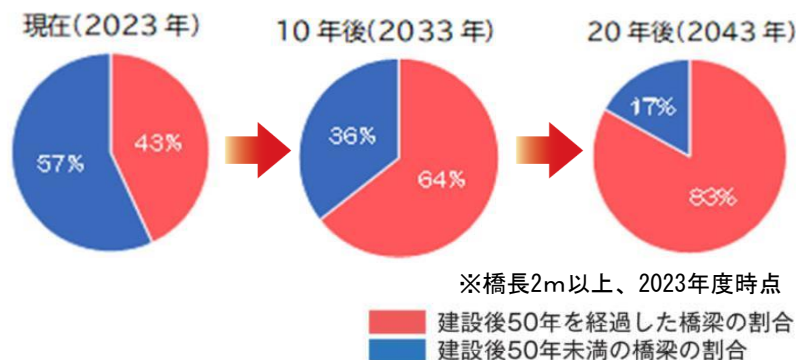


7 道路管理

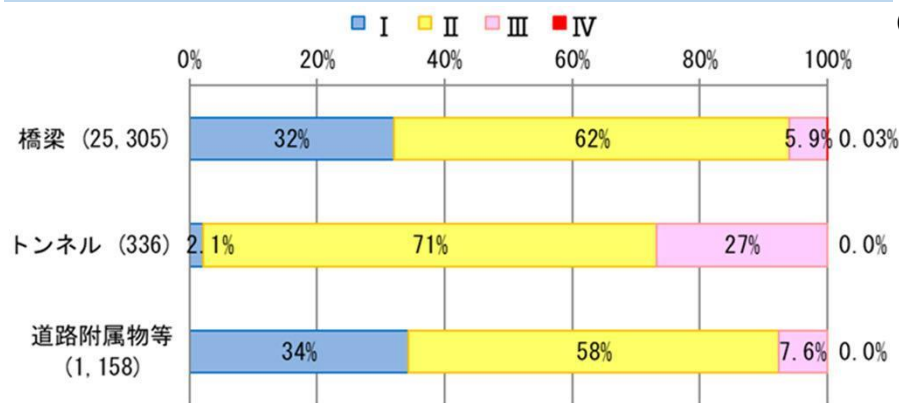
○道路メンテナンスの推進

- 静岡県内においては、各道路管理者が管理する橋梁のうち、建設後50年を経過する橋梁は約4割。高度経済成長期に建設された橋梁が多く、20年後には高齢化した橋梁の割合は約8割となる見込み
- 2巡目の点検の結果、早期に措置を講ずるべき状況(判定区分Ⅲ)は橋梁の約1割、トンネルの約3割であり、修繕も含めた効率的なメンテナンスサイクルの推進が必要
- 静岡県道路メンテナンス会議として自治体に対して技術的サポートを実施

建設後50年を経過する橋梁の割合（43%→20年後83%）



2巡目（2019～2022年度）の判定区分割合（静岡県内の全道路管理者）

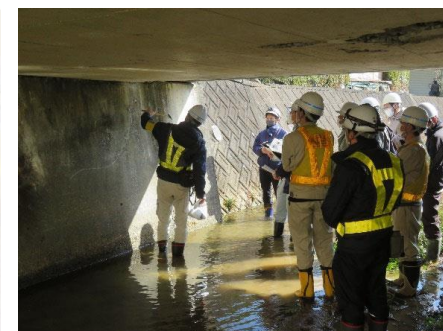


■道路メンテナンス会議における技術的サポートの内容

- 道路施設の現状と定期的な点検・修繕の必要性について住民の理解を促進するパネル展の開催
- 道路管理者の技術力向上のため点検ミニ講習会、橋梁補修技術セミナーの開催
- 自治体同士での意見交換や新技術活用事例等の共有のため、実務担当者会議の開催
- 応募が少ない土木系学生採用に向けた採用情報の合同発信



パネル展の開催



点検ミニ講習会の開催

7 道路管理

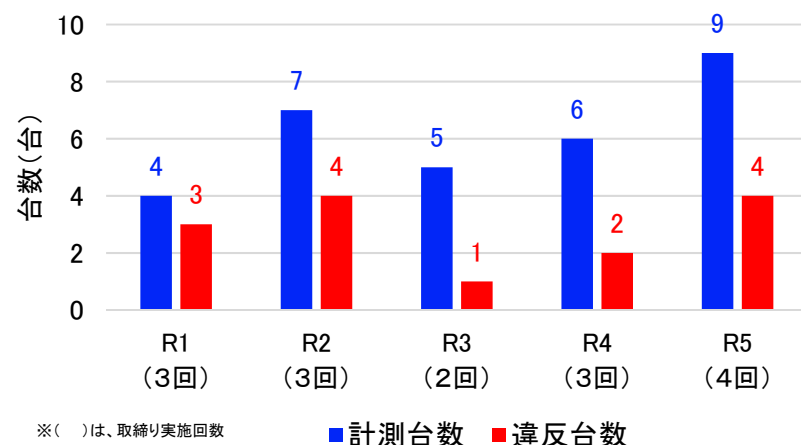
○特殊車両

○過積載車両の通行は、橋梁などの道路施設に損傷を及ぼすことから、特殊車両の現地取締りの実施により、大型車両の通行適正化を推進

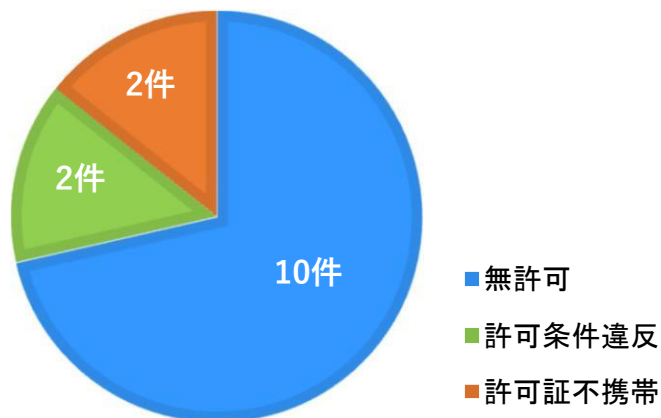
○2024年問題に向けて、1台で通常の2台分の輸送が可能な「ダブル連結トラック」の導入が進んでおり、運行企業数及び許可台数が増加

特殊車両現地取締り

■特殊車両現地取締りの推移



■違反内容の内訳(R1～R5)



■特殊車両現地取締りの様子(谷稲葉うぐいすPA)



<X(旧Twitter)の広報>



ダブル連結トラック

現在 通常の大型トラック (10tトラック)



今後 ダブル連結トラック：1台で2台分の輸送が可能



R5年度に2件許可処理



走行中のダブル連結トラック(25m車両)

32

- 平成24年4月の無料化、新東名の開通以降、大型車を含む交通量が大幅に増加し舗装の劣化が進行
- 夜間の修繕工事ではなく、昼夜連続規制の集中工事とすることで、作業日数の短縮、コストの削減を推進
- 平成25年より路盤を含めた舗装打換えを実施し、令和6年度末で全体の約85%が完了予定

静岡県

富士宮市

静岡市

富士川IC

富士川楽座

富士

新富士IC

広見IC

富士IC

富士市

富士東IC

沼津市

田子の浦港

西富士道路

直轄国道(静岡管内)

直轄国道

高規格幹線道路

Figure 1: Comparison of Traffic Volume (台/日) for (H17), (H25), and (R1) Periods.

Period	Traffic Volume (台/日)	Heavy Vehicle Traffic Volume (台/日)
(H17) 無料化前	21,465	712
(H25) 無料化後	49,154	6,882
(R1)	49,551	9,660

Legend:

- Blue bar: 交通量 (台/日)
- Red line: うち大型車交通量 (台/日)

Note: A callout box indicates that heavy vehicle traffic volume is approximately 1.3 times the total traffic volume in the (R1) period.

夜間工事
(一晩目)

夜間工事
(二晩目)

夜間工事
(三晩目)

通常の打換え範囲

表層

基層

路盤

(仮舗装)

路盤

表層

基層

路盤

昼夜連続規制による集中工事
 { 仮舗装を省くことにより期間を
 約6割短縮、コストを約3割削減 }

Category	Percentage
上り線 (南向き)	43%
下り線 (北向き)	42%
8%	8%
7%	7%
対策済 (延べ延長ベース)	85%

工事名	福岡県道第1号久留米市街地内区画整理工事
工種	道路工事
測点	7.0+35

着工前

7 道路管理

○管内の各規制区間等

○静岡国道事務所管内には、事前通行規制区間(雨量規制区間)・越波・強風による規制区間・降雪時、予防的に通行止めする区間のほか、南海トラフ地震・富士山噴火・浜岡原子力発電所圏域に関わるエリアがある

事前通行規制区間(雨量規制区間)



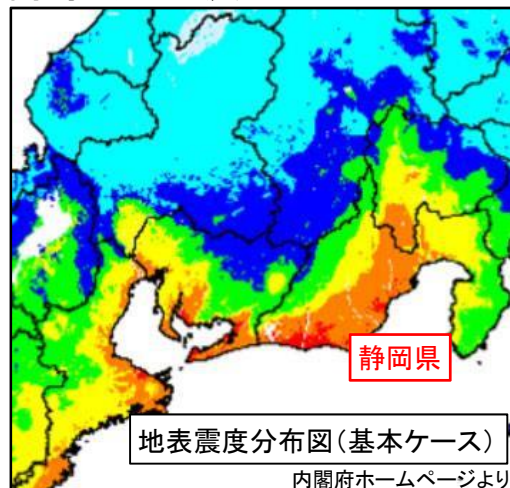
越波・強風による規制区間



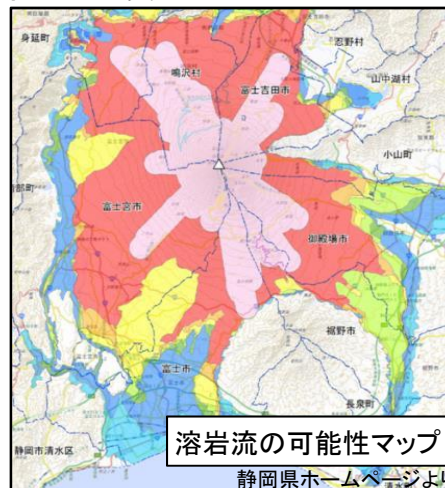
降雪時、予防的に通行止めする区間



南海トラフ地震



富士山噴火



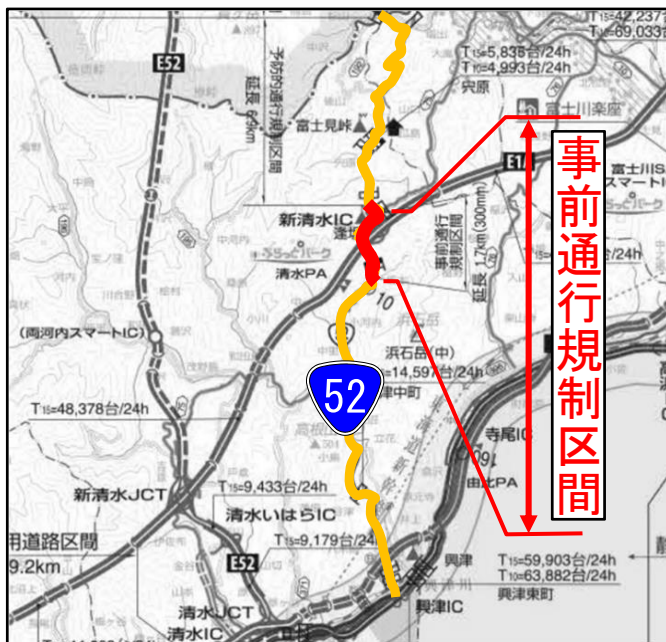
浜岡原子力発電所圏域



8 災害への備え

○事前通行規制区間(雨量規制区間)における対策

○国道52号で大雨・台風時に土砂崩れや落石等の恐れがある箇所について、事前通行規制区間(雨量規制区間)を定め、基準雨量(400mm)に達する場合は通行止めとし、道路利用者の安全を確保



■事前通行規制区間

国道52号

延長: 1.7km

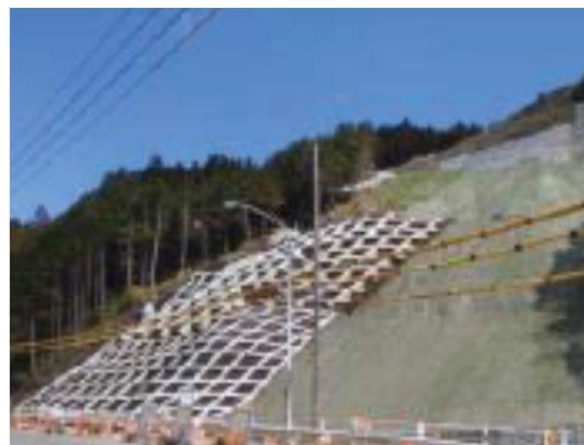
基準雨量: 400mm

※法面防災工事等の実施により、令和5年4月に基準雨量をそれまでの300mmから400mmへ緩和

○近年の通行止め実績

年 月 日	雨 量	通行止め時間
令和元年 10月 12日	345mm	6時間20分
令和3年 7月 3日	500mm	11時間30分
令和4年 9月 24日	407mm	17時間5分
令和5年 6月 2日	408mm	6時間35分

※



平成26年台風18号による被災箇所の復旧
(平成28年3月完了)



通行止め訓練

8 災害への備え

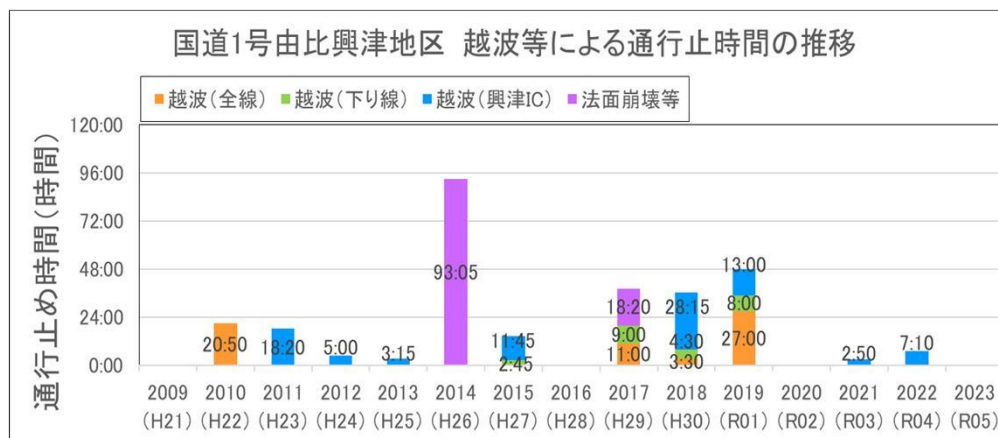
○越波・強風への対応

- 国道1号富士由比バイパス及び静清バイパスの駿河湾に面している区間では、台風等に伴う越波や飛散物、強風による車両横転の危険から道路利用者を守るため、通行規制を実施
- 令和元年10月の台風19号上陸時には、越波への対応として富士川橋～清見寺IC間を、損傷した防護柵の応急復旧や道路清掃の時間を含め、上り27時間、下り35時間に及ぶ通行止めを実施
- 平成30年9月の台風24号接近時には、新富士川橋付近で強風に伴う通行規制を実施

越波・強風による規制区間



越波による被害事例(R1.10台風19号)



8 災害への備え

○規制時間短縮への取り組み

- 防災・減災、国土強靱化の取り組みの中で、越波が想定される区間(由比・興津地区)約3.1kmにおいて、規制時間短縮のため、越波に伴う飛散物の打ち上げ防止する越波飛散防止柵を整備
- 迅速な通行規制の実施及び省人化のため、遠隔操作可能な遮断機を整備(令和6年3月に興津ICに設置、令和6年度に清見寺ICに設置予定)。状況に合わせた適時規制や規制時間の短縮を図る運用方法を検討

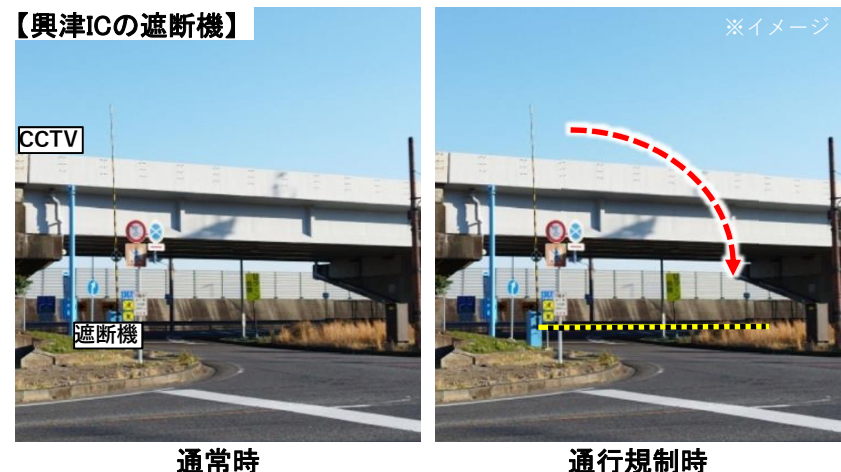
越波対策の整備状況



【越波飛散防止柵】



【興津ICの遮断機】



8 災害への備え

○雪氷への対応

- 積雪による交通障害や交通事故を未然に防ぐため、雪氷予測を取得して降雪見通しを確認し、適切なタイミングで凍結防止剤の散布、通行車両のタイヤチェック、除雪作業等を実施
- 大雪時の道路交通確保対策について、これまでの「出来るだけ止めない」方針から「人命最優先に車両滞留を徹底的に回避」へと転換。大雪が見込まれる場合は広域迂回を促し、道路を早めに通行止めして集中的な除雪作業を実施することで、通行止め時間の短縮による社会的影響を最小化
- 道路管理者(国・県・政令市・NEXCO)・交通管理者・気象台・防災機関で構成する「山梨静岡県境地域道路災害対策連絡協議会(通称やましず)」で連携し、情報共有及び共同記者発表、X(旧Twitter)で情報発信を実施

雪氷対応の流れ



凍結防止剤散布



除雪



タイヤチェック



通行止め



【降雪時に予防的に通行止を行う区間】



【広域迂回及び情報掲示板での案内のイメージ】



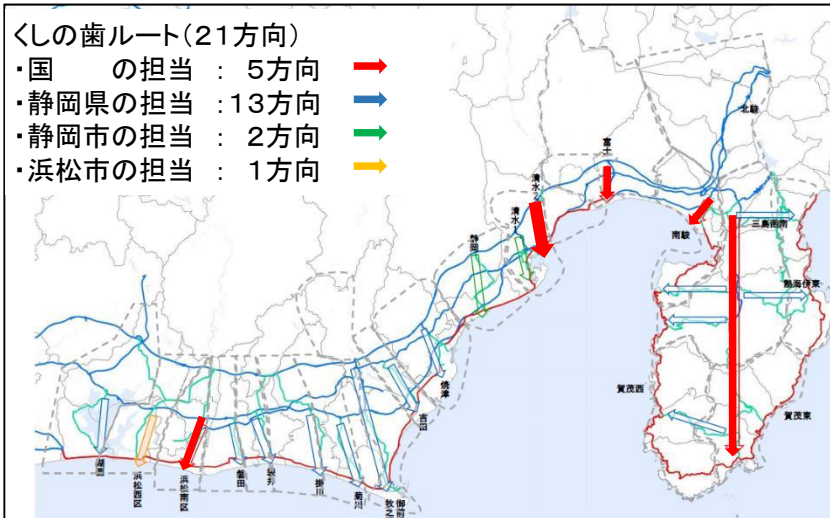
【X(旧Twitter)による広報】

8 災害への備え

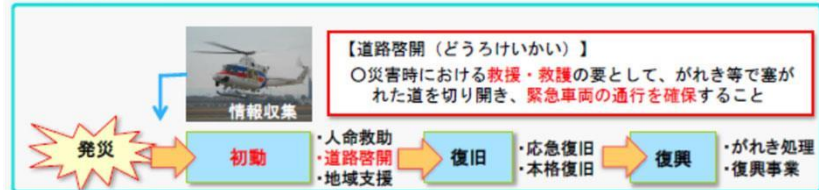
○南海トラフ巨大地震に対する備え

○発災時に「中部版くしの歯作戦」(H24策定)が確実に『機能する』ため、関連機関との訓練等により検証

○「くしの歯作戦」について、令和6年能登半島地震を踏まえたブラッシュアップ等を実施



《道路啓開の位置付け》



Step1 : 広域支援ルート(くしの軸)の確保と道路啓開体制の確立

Step2 : 人命救助のためのくしの歯の確保

Step3 : 沿岸部ルートの確保
(人命救助、物資輸送、拠点へのアクセス)

R5.9.1 道路啓開初動対応訓練(静岡市)

静岡市(リエゾン)



静岡国道災害対策支部



現場(協定業者)



静岡市の訓練にリエゾンとして参加し、災害対応「静岡スタイル」との連携を検証。Web会議およびIP無線機を活用し、現場巡回の災害協定業者と情報共有を実施。

R5.10.10 道路啓開初動対応訓練(幹線協)



幹線協の訓練に参加し、中部版「くしの歯作戦」における初動、迅速な情報収集・情報伝達の検証を実施。所内では、くしの歯防災システムやCCTVの説明会を開催し、操作方法等を職員全体で確認。

8 災害への備え

○ TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）の活動

○TEC-FORCEは、大規模な自然災害等に際し、被災自治体が行う被災状況の把握、被害の拡大の防止、被災地の早期復旧等に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施

至近5年の活動実績

	発災年月	災害名	主たる活動場所	派遣期間	静岡職員の延べ派遣人数（実数）
1	令和元年10月	令和元年台風19号災害	岩手県下閉伊普代村	令和元年10月19日～25日	28名（4名）
2	令和2年7月	令和2年7月豪雨災害	岐阜県下呂市	令和2年7月10日～16日	28名（4名）
3	令和3年1月	令和3年1月豪雪災害	富山県南砺市	令和3年1月10日～11日	2名（1名）
4	令和3年7月	令和3年7月熱海市伊豆山地区土砂災害	静岡県熱海市	令和3年7月11～14日	4名（1名）
5	令和4年9月	令和4年台風15号災害	静岡市清水区・葵区	令和4年9月24日～12月28日	413名（38名）
6	令和6年1月	令和6年能登半島地震	石川県珠洲市・七尾市	令和6年1月9日～2月2日	68名（9名）

令和4年台風15号災害では、下記の対応を主に実施

被災箇所調査



被災状況調査①

孤立集落解消支援



工事用道路築造により歩行者通路を確保

路面清掃支援



市道に堆積した土砂排除を支援(10/1)

その他支援



散水車による給水支援

令和6年能登半島地震では、中部地方整備局の被災状況調査（道路班）の一員として活動

被災箇所調査（道路班）



法面崩落の調査



滑動による亀裂の調査



他班とともに七尾市長に調査報告

照明車操作支援（建設業協会）



災害協定に基づく清水建設業協会からの派遣

8 災害への備え

○防災点検・対策の推進

○豪雨・地震等による災害を防止するため、道路法面の安定性等について詳細な点検を行い、今後の道路防災対策に反映していくために道路防災点検を実施

○点検の結果、対策が必要な箇所については、危険度に応じ必要な工事を実施

令和6年度は、・国道1号岡部^{おかべ}バイパスの静岡市駿河区赤目ヶ谷^{あかめがや}地区において、法面防災工事を推進

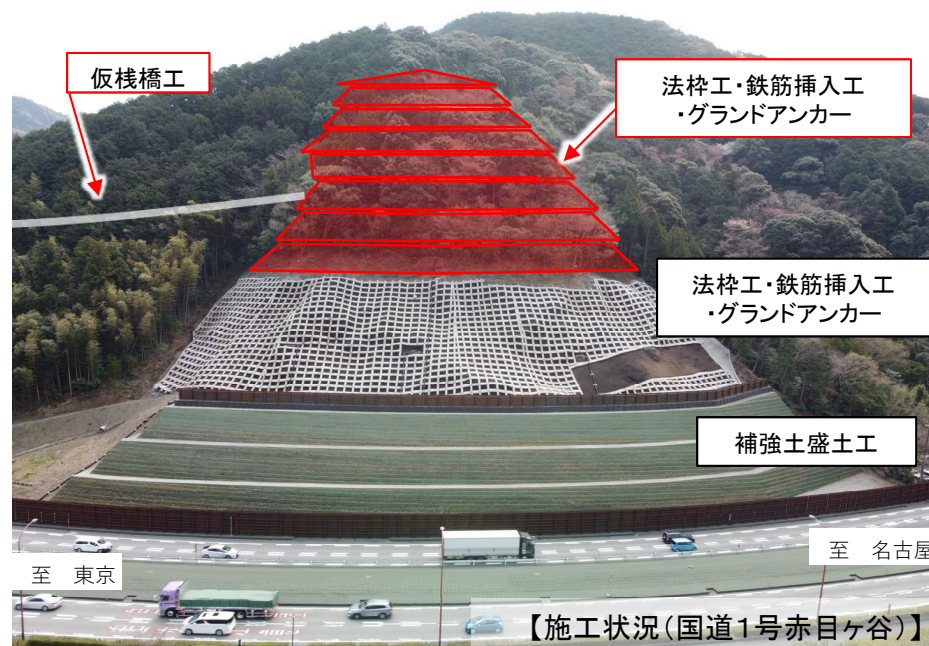
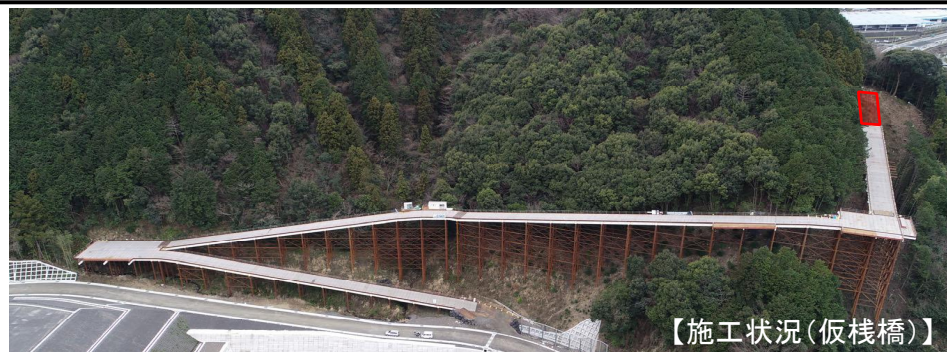
・国道52号において、要対策箇所における防災工事を推進 等

(令和5年度末時点)

	路線	判定(管理レベル)	
		Ⅲ・Ⅳ	Ⅰ・Ⅱ
静岡 維持 (出)	国道1号	静岡市駿河区赤目ヶ谷：1 藤枝市時ヶ谷：1 島田市阿知ヶ谷：1	83
	国道52号	富士宮市内房：4 静岡市清水区穴原：3 静岡市清水区小河南：3	82
富士 維持 (出)	国道1号	—	1
	国道139号	—	16
箇所数合計		13	182

令和6年度の主な事業内容

- ◆ 国道1号 静岡市駿河区赤目ヶ谷
→ 仮栈橋工(進入路工)、法面工
- ◆ 国道52号 富士宮市内房
→ 落石防止柵工、流木補足工
- ◆ 国道52号 静岡市清水区穴原
→ 横断函渠工
- ◆ 国道52号 静岡市清水区小河南
→ 土石流補足工



9 交通安全の推進

○事故ゼロプラン

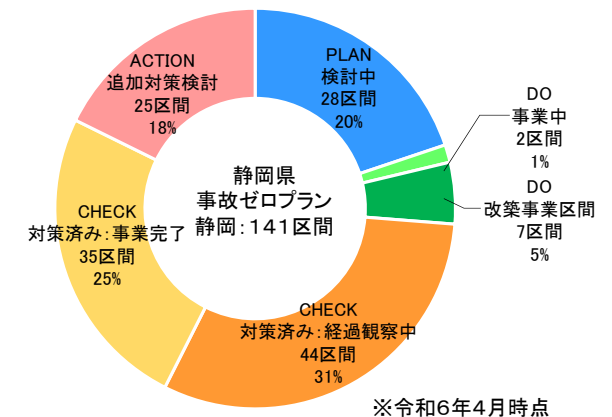
○事故データや地域の声に基づき交通事故の危険性が高い区間を「事故危険区間」として選定し、事故要因に即した対策を重点的・集中的に講じることにより効率的・効果的な交通事故対策を推進

○単に選定区間の対策を実施するだけではなく、継続的に事故発生状況をモニタリングし、必要に応じて迅速に改善を加えることで成果を上げていくPDCAサイクルで実施

対策立案(P/Plan)～対策実施(D/Do)～効果評価(C/Check)～追加対策検討(A/Action)



《静岡県内の事故ゼロプラン区間数》



令和6年度の主な事業内容

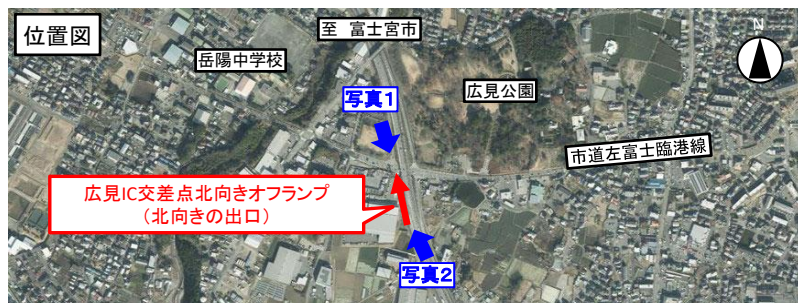
- ①【国道1号 黒金町地区通行空間整備】 工事**
 静岡県静岡市葵区黒金町
 <対策内容>・自転車歩行者道整備
 ・バス停車帯整備等
- ②【国道139号 広見IC交差点改良】 工事**
 静岡県富士市伝法
 <対策内容>・下り線(北向き)オフランプ2車線化
- ③【国道139号 阿幸地交差点改良】 調査**
 静岡県富士宮市阿幸地
 <対策内容>・交差点のコンパクト化
- ④【国道139号 富士宮通行空間整備】 調査**
 静岡県富士市猪之頭～根原
 <対策内容>・自転通行帯整備

9 交通安全の推進

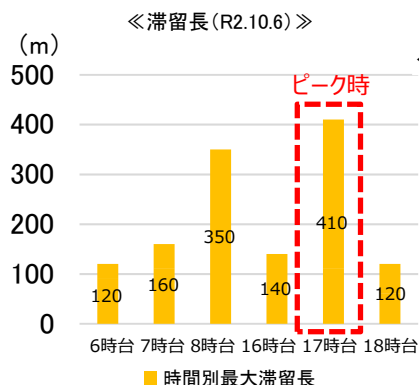
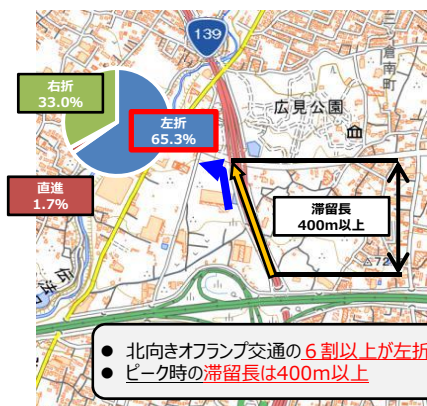
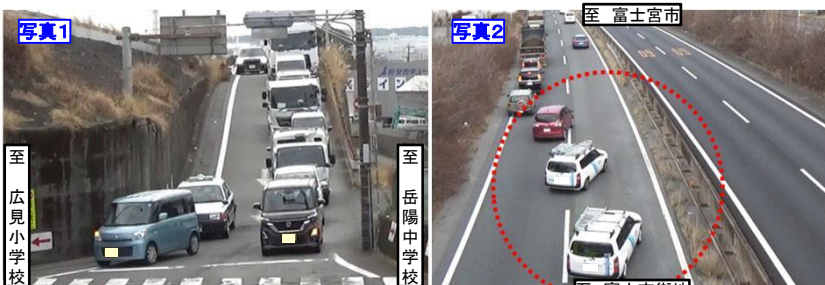
○広見IC交差点改良(国道139号 広見IC(下りOFFランプ)2車線化)

○北向きオフランプでは交通渋滞が本線まで達しており、追突事故の発生が懸念される。そのため、オフランプを2車線に拡幅(左折レーン設置)するとともに延伸することで、本線までの滞留長を縮小し、交通事故の防止を図る

○令和3年度に事業化し、令和5年度までに設計・用地買収を進めており、令和6年度より工事に着手



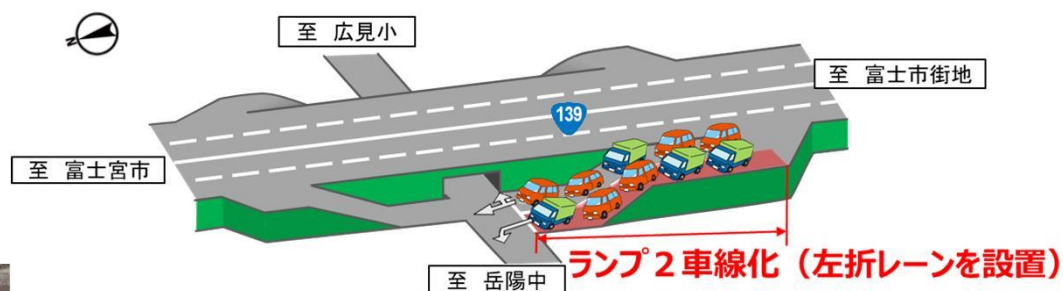
1. 現状・課題



※滞留長・・・1回の赤信号で滞留する車列の長さ

2. 対策内容

《対策イメージ》



《対策前後の比較》

項目	対策前	対策後
イメージ図	側道接続あり	側道接続なし 左折レーン設置

《完成イメージ》



9 交通安全の推進

○生活道路対策の取り組み(各自治体への支援)

○生活道路における人優先の安全・安心な通行空間整備の更なる推進を図るため、最高速度30km/hの区域規制と物理的デバイスを組み合わせて交通安全の向上を図る『ゾーン30プラス』が令和3年よりスタート

○令和3年度には、交通分析結果の提供等の支援を行ってきた、静岡市清水区鶴舞町地区が『ゾーン30プラス』に登録。令和4年度は、藤枝市にて地元意見を反映した生活道路対策を推進するため、住民参加型ワークショップに対する技術的支援を行ったほか、静岡市・焼津市からの要請に応じ、交通分析結果を提供

ゾーン30プラス登録状況

令和6年3月時点

No.	自治体	地区名	登録年度	整備年度	効果検証	支援内容
1	静岡市	清水区 鶴舞町 (入江西)	R3	R3	R5	交通分析結果の提供
2	静岡市	清水区 入江東	R4	R4	R5	交通分析結果の提供
3	静岡市	駿河区 中田	R4	R5	R6	交通分析結果の提供
4	焼津市	栄町	R6予定	未定	未定	交通分析結果の提供
5	静岡市	葵区長沼	R6予定	未定	未定	交通分析結果の提供
6	藤枝市	岡部町 三輪	R6予定	未定	未定	交通分析結果の提供, WS 参画

○R5年度に実施した 藤枝市 岡部町三輪地区への支援状況

令和5年度は、令和4年度から引き続き生活道路対策を検討するためのワークショップおよびアンケート調査を実施。

第3回ワークショップでは、これまでの意見を踏まえた対策の具体案を提示し、それぞれの案に対する意見交換を実施。

意見交換を踏まえ地域住民アンケート調査を行い、調査結果を基に最終的な対策案を藤枝市との調整のうえ検討をした。

第4回ワークショップでは、第3回までに調査してきた対策内容で承認を得た。

■三輪地区 生活道路対策に関するワークショップのフロー



第3回ワークショップ

目的：三輪地区の具体的な対策案の共有

- ・実施日：2023/11/2
- ・実施場所：三輪公民館

■ワークショップの様子



■具体的な対策案の提示



頂いた意見より、より具体的な対策案を選定するためのアンケート調査を実施

アンケート調査



■アンケートにて頂いた意見

- 狭さく等の物理的デバイス設置には一定の効果を感じる。
- 通学路での歩行者安全性向上のためのグリーンベルト設置の対策は効果を感じる。

対策実施に向け、アンケート結果を基に最終対策(案)を検討

9 交通安全の推進

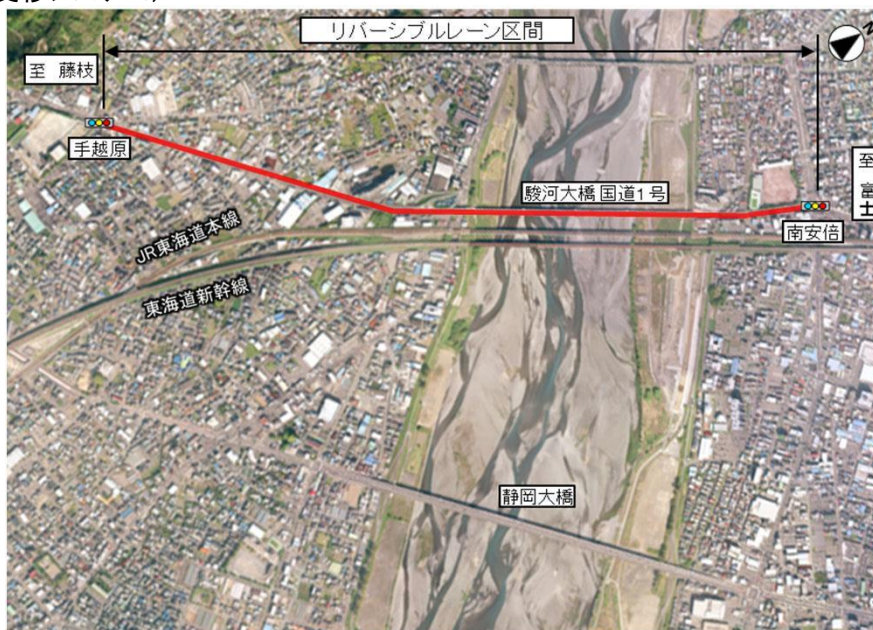
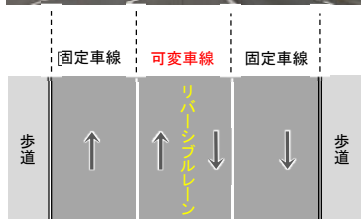
○交通事故の減少に向けた取り組み

○リバーシブルレーン(中央線変移システム)は、静岡市以西の地域と市中心部を結ぶ交通により、朝夕の時間帯で慢性的に発生している交通渋滞の緩和を目的として、昭和53年に設置

○国道1号静岡バイパスの整備や静岡大橋開通に伴い、国道1号現道の交通量が減少するとともに、下り方向(藤枝方面)の夕方ピーク時交通量も減少。また、分かりづらい規制における逆走や沿道利用時の交通事故が多く、令和5年度から、システムのあり方、最適な車線運用について静岡県警と調整を実施

○今後、静岡県警と連携し、システム廃止、車線運用の見直しを図り、交通事故減少を目的とした工事を進める

■リバーシブルレーン(中央線変移システム)



地図：国土交通省 国土地理院 地理院地図

国道1号の渋滞対策として、静岡県警察交通規制センターに設置した中央線変移主制御装置(中央装置)と変移規制区間内5箇所に設置された端末制御機をNTT専用回線により直接制御し、可変標識板および発光式道路標を動作させ、中央線を変移させるもの。

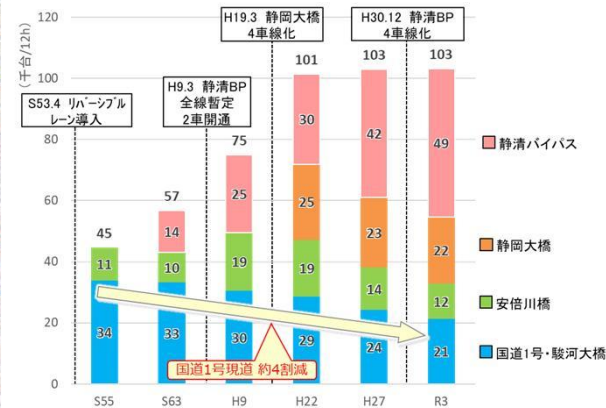
○運用開始：昭和53年4月1日

○規制区間：南安倍交差点～手越原交差点間の約2km

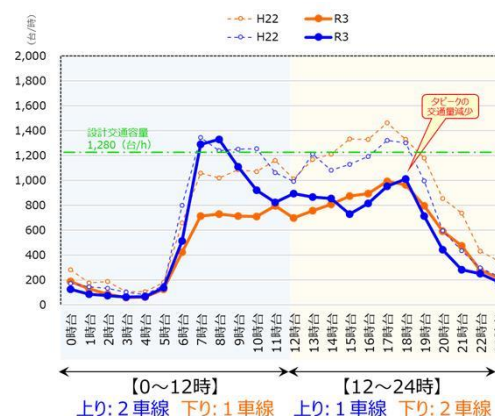
○規制時間：0時～12時(午前) 上り2車線 / 下り1車線
12時～24時(午後) 上り1車線 / 下り2車線

※上り：静岡駅方面
下り：藤枝市方面

■交通量の推移



■時間帯別交通量



10 無電柱化の推進

○令和6年度の主な事業箇所

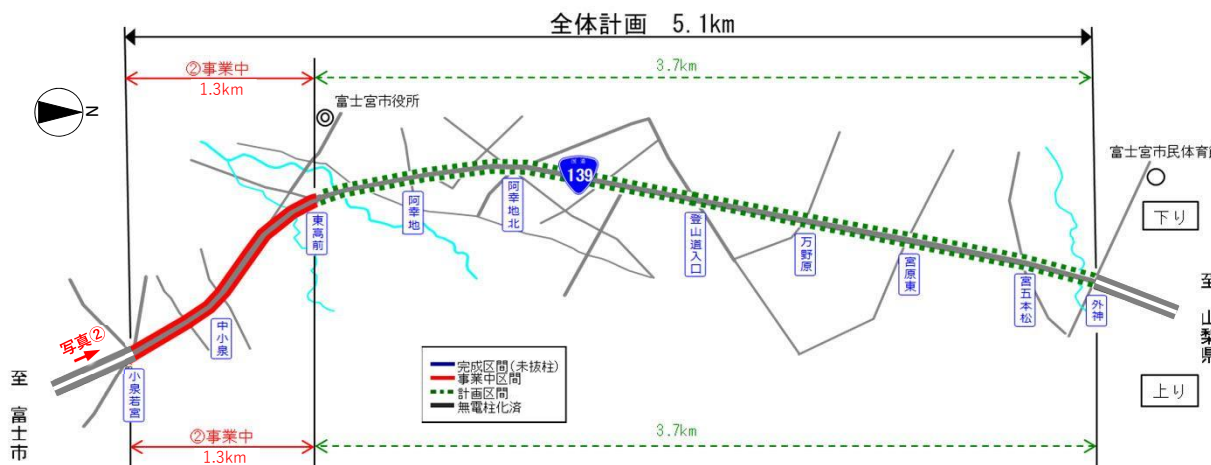
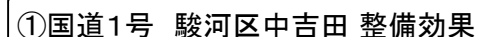
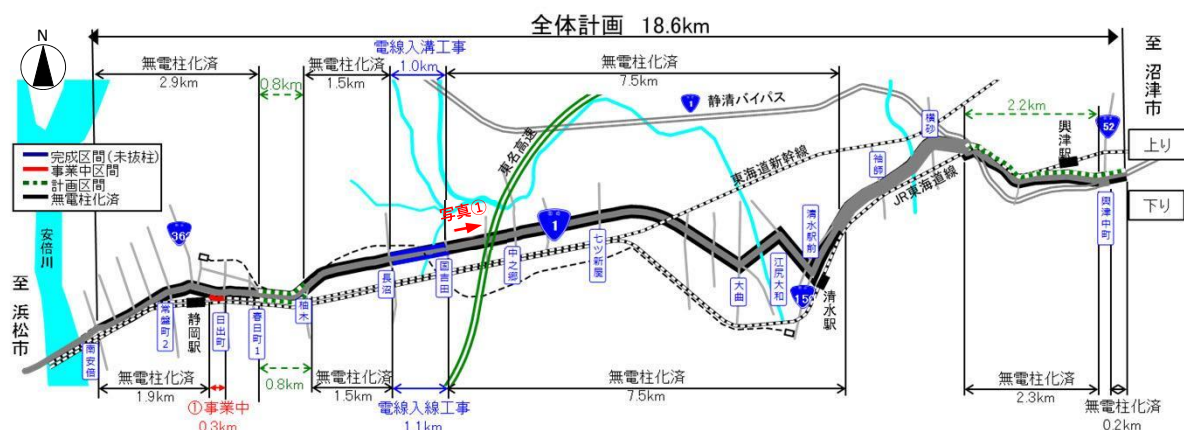
○令和6年度の主な事業箇所

○①防災、②安全快適、③良好な景観形成を目的に道路の地下空間を活用し、電力線や通信線などをまとめて収容する電線共同溝の整備により、無電柱化を推進

○令和6年度は2か所において調査・設計・工事を推進

①国道1号 静岡市葵区栄町^{さかえちやう}～葵区黒金町^{くろがねちやう}(L=0.3km 下り)の本体工事を推進(令和6年度完了予定)

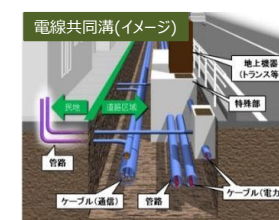
②国道139号 富士宮市小泉^{こいずみ}(L=1.3km 上り・下り)の調査・設計・本体工事、支障物移転を推進



②国道139号 小泉電線共同溝

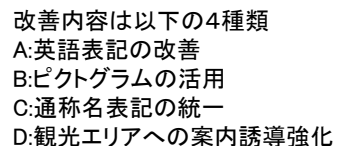
《現地状況》

イメージ図



46

- ## ■ 標識改善の取り組み



- : 主要な観光地
: 主要な交通結節点
(富士山・静岡空港・清水港・新幹線駅)



平成6年にハートビル法、平成25年に障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律が制定され、社会的障壁の除去に関する必要かつ合理的な配慮を的確に実施するための環境整備を推進



計31箇所に設置(R6.1時点)



12 住民参加型の道路管理

○ボランティア・サポート・プログラム(VSP)

○ボランティア・サポート・プログラム(VSP)とは、直轄国道を対象とする道路の美化・清掃プログラム

○VSP協定を締結した団体が、道路の清掃、除草、緑化活動、安全点検等を実施

■静岡国道事務所管内で活動中の団体（17団体）

協定締結日	団体名	活動場所
H14.8.19	大岩4丁目町内会	国道1号 静岡市葵区内
H19.11.22	(株)ニッケコー	国道1号 静岡市駿河内
H22.12.15	藤田電気(株)	国道1号 静岡市葵区～駿河区内
H25.10.17	静岡県設備協会	国道1号 静岡市葵区内
H27.3.30	セイトー(株)	国道1号 静岡市葵区～駿河区内
H27.7.28	富士山朝霧高原景観管理協議会	国道139号 富士宮市内
H28.7.4	えんの会	国道139号 富士宮市内
H29.12.14	静岡県トラック協会中部支部	国道1号 藤枝市内
H30.11.21	国際航業(株)中部支社	国道1号 静岡市葵区内
R3.11.2	(株)ナガシマ電子	国道1号 静岡市駿河区内
R3.11.15	(株)NIPPO静岡統括事業所	国道1号 静岡市駿河区内
R3.11.15	静岡中央建設(株)	国道1号 静岡市駿河区内
R3.12.17	朝霧メイプルファーム(有)	国道139号 富士宮市麓地先
R4.8.8	遠藤建設(株)	国道139号 富士市内
R4.8.23	(合)イデオモーター	国道1号 静岡市清水区内
R4.8.23	ケルヒヤージャパン(株)	管内の国道のうち一部分
R4.11.11	静和工業(株)	国道1号 静岡市葵区内

<清掃・除草活動>



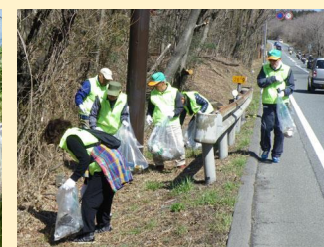
静岡県設備協会



(合)イデオモーター



遠藤建設(株)



えんの会



<安全点検> 国際航業(株)



<緑化活動> 大岩4丁目町内会



静岡県トラック協会
中部支部



(株)ニッケコー

12 住民参加型の道路管理

○道路協力団体

- 道路における身近な課題の解消や道路利用者のニーズへのきめ細やかな対応などの業務に自発的に取り組む民間団体等を支援
- 道路管理者と連携して業務を行う団体として法律上位置づけることにより、自発的な業務への取組を促進し、地域の実情に応じた道路管理の充実を推進
- 地域の方々や有識者と意見交換を行い、団体としての活動を持続可能にする手法を検討

<トピックス>



道路協力団体

令和4年12月にロゴマークが決定

■静岡国道事務所管内の道路協力団体

道路協力団体名	富士山朝霧高原景観管理協議会 あさぎり	特定非営利活動法人 丸子まちづくり協議会 まりこ
初回指定日	平成28年12月27日(火)	令和3年1月18日(月)
指定区間	国道139号 28k400(富士宮市猪之頭)～ 36k250(同市根原)	国道1号 187k300(静岡市駿河区丸子)～ 191k900(藤枝市岡部町岡部)
業務内容	(1号業務)歩道等の除草・清掃・除草剤散布 (2号業務)募金活動、活動応援自動販売機の設置 (4号業務)集約案内サインの設置の研究 (5号業務)道路景観に関する普及啓発、富士山一周サイクリングルートの整備を踏まえた修景活動などの検討	(1号業務)道路清掃・花壇整備 (2号業務)自動販売機設置、オープンカフェ・朝市、道路案内設備整備、レンタサイクル、観光ガイド、予約駐車場 (3号業務)駐車パトロール・注意喚起看板設置 (5号業務)ワークショップ、道路に関する普及・啓発活動等

■除草・清掃(朝霧高原)



■バイクスタンドの設置(朝霧高原)



■ワークショップ(宇津ノ谷峠)



■R5.11.23 第6回「秋のやじきたウォークin 宇津ノ谷」

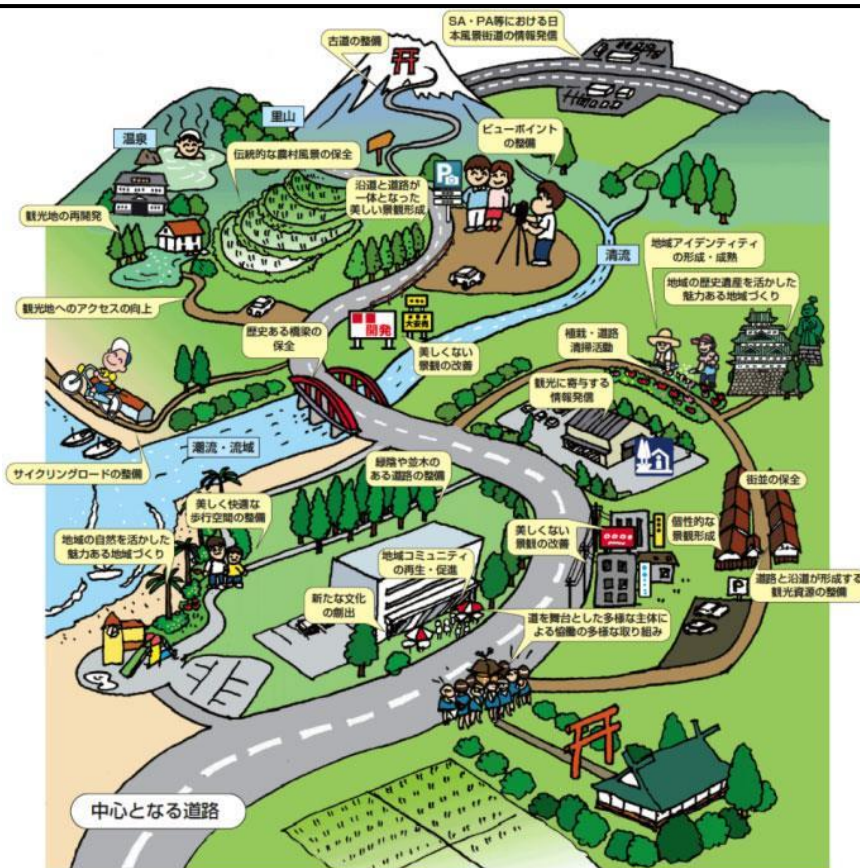
内容: 宇津ノ谷峠の歴史や文化を楽しむイベント
参加: 110人



13 道路を活かした地域の活性化 ○日本風景街道

○郷土愛を育み、日本列島の魅力・美しさを発見、創出するとともに、多様な主体による協働のもと、景観、自然、歴史、文化等の地域資源を活かした国民的な原風景を創成する運動を促し、地域活性化、観光振興、美しい国土の形成を目指す取組

○令和6年2月現在、全国で145ルートが登録。
静岡国道管内では3ルートの活動を支援



日本風景街道のイメージ

ぐるり富士山風景街道

富士山の見える道風景、富士山をぐるりと巡る道風景を守り・創り・伝えていく

霊峰富士を巡る幾筋もの道には、日本人の祈りの風景があり、それを支えた暮らしの風景があります。春夏秋冬、さまざまな角度から眺める富士の姿は美しい。

「ぐるり富士山風景街道」は、その名のとおり、国道138号、139号、469号をつないでぐるりと富士山麓を一周するルートが主軸になっている。

地域の活動推進体制

■ぐるり富士山風景街道
NPO法人地域づくりサポートネット、NPO法人まちづくりトッパーナーふじのみや本舗、富士山朝霧高原景観管理協議会等29団体(静岡側)、行政機関

地元の取組・活動

富士宮市朝霧地区や御殿場市及び小山町では、地域の方々を中心に、転落防止柵の茶色への塗り替え、除草・ゴミの清掃や花の植替えによる環境美化活動など優れた景観を守る活動を行っている。



13 道路を活かした地域の活性化 ○日本風景街道

東海道「^{するが}駿河2峠6宿風景街道」

東海道と富士山、宿場と峠を満喫する

江戸時代、五街道のうち最も重要な街道だった東海道。静岡市には、その東海道の宿場が6宿（蒲原、由比、興津、江尻、府中、丸子）あり、当時の町並みや史跡など歴史的な文化を残している。さらに、歌川広重が見た東海道の風景が現在でも唯一眺望できる薩埵峠と、伊勢物語の舞台にもなった宇津ノ谷峠がある。

富士山の絶景が楽しめ、ウォーキングに最適。ナショナルサイクルルートに認定された太平洋岸自転車道もこの道と重なっており、サイクリングも楽しめる。

地域の活動推進体制

■静岡二峠六宿街道観光協議会

NPO法人地域づくりサポートネット、NPO法人丸子まちづくり協議会、しずおか街道観光研究会等24団体、郷土史家(学識経験者等)2名、行政機関

地元の取組・活動

町内会、ビルの管理者、企業、地域の住民、国、県、市など、様々な方々の協力を得て、案内サインの設置、ベンチ等の塗り替え、さらに石碑の修景、解説マップ等の情報発信など、旧東海道の「まち磨き」を行い、「魅力ある2峠6宿」を育てている。



大井川流域「^{おおいがわ}南アルプスへの道・お茶の道」

南アルプスの豊かな自然・お茶街道の魅力を満喫

南アルプスや大井川などの雄大な景観、四季折々の見所が満載で、桜の名所、映画ロケ地の駅舎、美しい景観に囲まれた温泉などの豊富な地域資源が楽しめる。SLや日本唯一のアプト式鉄道で行く大井川流域の旅は最高。

さらに、東海道の難所として知られた大井川流域に育んでいる宿場町（島田宿・金谷宿）の歴史や駿河神楽などの伝統文化の資源も満載。又、牧之原台地から始まる大井川筋は「お茶街道」となっており、見て、飲んで、体験できるお茶の街道としても楽しめる。

地域の活動推進体制

■大井川流域サイクルツーリズム協議会

大井川鉄道株式会社、観光協会 3団体、行政機関

地元の取組・活動

新東名「島田金谷IC」降りてすぐにある「KADODE OOIGAWA」では、大井川流域の緑茶・農業・観光を「飲んで、食べて、買って、体験して」楽しむことができる。



13 道路を生かした地域の活性化

○ほこみちによる地域活性化

- 令和2年11月25日付道路法等の一部を改正する法律案の施行により、ほこみち制度が創設
- 令和5年8月10日に、一般国道139号道の駅「朝霧高原」にてほこみちを指定
- 静岡駅周辺の交通拠点の機能強化・再編の検討で目指す、静岡駅北口の賑わい創出の早期の取り組みとして一般国道1号「しずマチ」の利活用について地域や関係自治体と検討



●ほこみち（歩行者利便増進道路）とは？
賑わいのある道路空間を構築するための指定制度

- ほこみち制度で何が変わる？
1. 指定された特例区域内では占用基準が緩和
→無余地性の基準が除外され、占用物件が置きやすくなる
 2. 歩行者空間の構造基準を策定
→歩行者の利便増進を図る空間作りが可能になる

『通行』を中心とした道路から、人が滞在しやすい道路になる



ほこみちのイメージ図
出典：国土交通省 令和3年3月「コロナ占用特例からほこみちへ」



一般国道139号道の駅「朝霧高原」の様子
(ほこみち指定箇所)



JR静岡駅周辺地図



一般国道1号「しずマチ」の様子

14 自転車の利用環境の整備と活用促進

○太平洋岸自転車道

○太平洋岸自転車道は、千葉県から静岡県を通り、和歌山県に至る延長約1,400kmの自転車道で、令和3年5月31日にナショナルサイクルルートに指定

○令和5年度は、これまでに実施した安全点検の評価結果を踏まえ、安全点検検討会にて「安全点検の手引き（案）」を作成し、公表。今後は安全点検の手引き（案）に基づき、適正な自転車走行環境維持に努める

■太平洋岸自転車道ルート図



■安全点検のチェック項目（案）

（一般利用者向け）

（道路管理者向け）

チェック項目	
1)路面状態	路面の凹凸、バンク原因となる落下物、砂や落葉等の溜りなどにより危険性を感じるか
2)走行空間	走行の妨げとなる植栽・道路施設（防護柵など）や、道路からの転落などの危険性を感じるか
3)注意喚起	急な坂・トンネル・橋梁や、自動車・人の通行が多い箇所などにおいて「注意を促す看板」がなく危険性を感じるか
4)案内誘導	目的地・分かれ道や、拠点しせつなどへの案内が足りないと感じるか 多言語（日本語と英語）やピクトグラム案内が足りないと感じるか 標識や路面標示の劣化はあるか
5)その他	上記以外に気づいた点

チェック項目	
舗装・路面	未舗装、ひび割れ、わだち掘れ、ポットホール、隆起、溝、段差
落下物	バンクの原因となるガラス破片・釘の散乱、通行の妨げになる落下物
堆積物	砂や落葉等の堆積物
植栽	植栽の通行空間へのはみ出し等
附帯施設	走行の妨げになる道路附属物（柵、標識、車止め等）
防護柵	路外転落を防ぐための防護柵・転落防止柵の不足
老朽化	施設の老朽化や損傷している箇所はあるか
道路構造への注意喚起	トンネル、橋梁部、急勾配箇所等の注意喚起の不足
歩行者・自転車の注意喚起	歩行者・自動車が多い等の注意喚起の不足
経路案内	経路、分岐点、距離に関する案内表示・ピクトグラムの不足箇所はあるか
拠点案内	拠点（サイクリストに優しい施設）への案内に不足箇所はあるか（サイクルステーション、トイレ、ビュースポット等への一定間隔の案内）
多言語案内・ピクトグラム表示	多言語（日英2か国以上）やピクトグラムでの案内の不足箇所はあるか
案内表示の劣化	案内表示や矢羽根等の劣化はあるか
その他	上記以外に気づいた点

■太平洋岸自転車道の取組



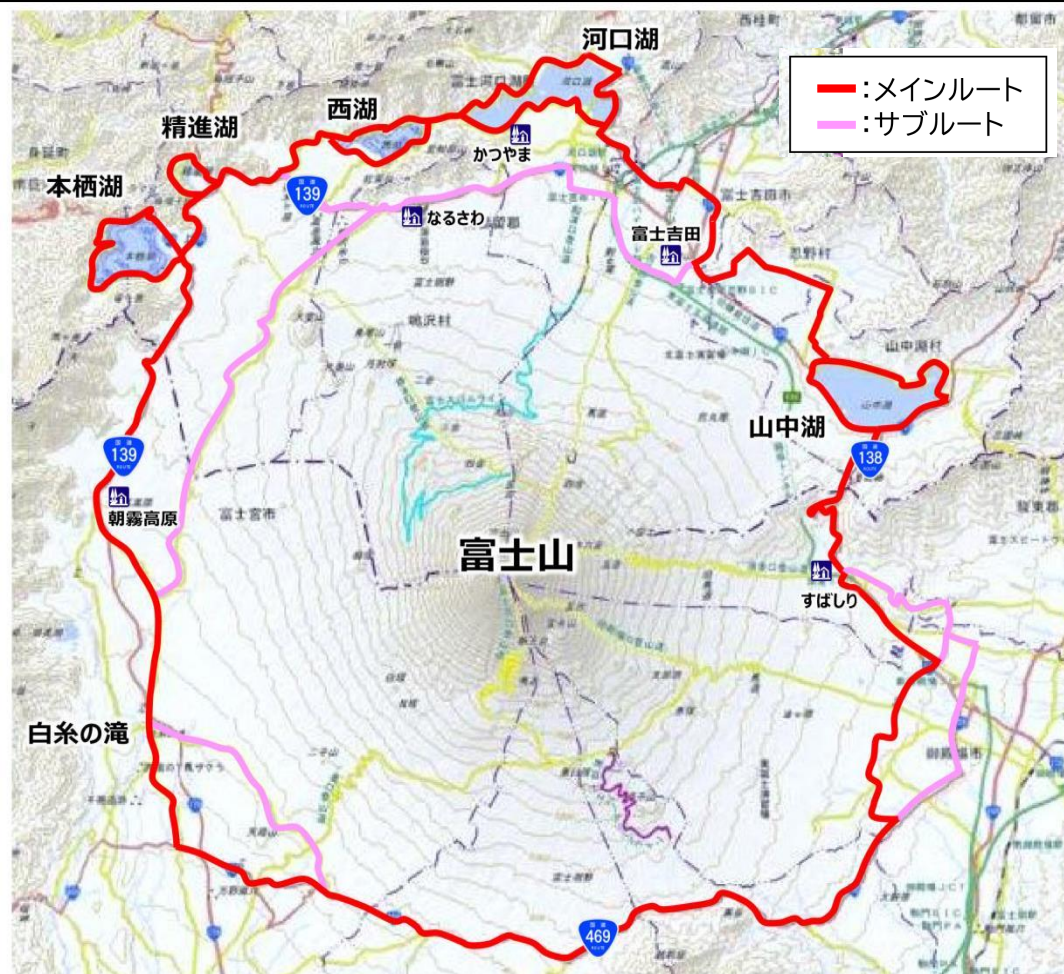
■安全点検検討会構成

沿線自治体	静岡県、静岡市、富士市
警察	静岡県警
地域関係者	レバンテフ静岡 ふじのくにeastサイクリストクラブ
学識経験者	埼玉大学 久保田教授 東海大学 鈴木准教授
事務局	国土交通省静岡国道事務所

14 自転車の利用環境の整備と活用促進

○富士山一周サイクリングルート(フジイチ)

- ぐるり富士山風景街道の取り組みの中で、富士山を一周するサイクリングルートの静岡県側の推奨ルートを、太平洋岸自転車道との接続ルートや活動拠点への引込ルートとともに関係機関と調整し、令和3年6月に設定
- 令和5年8月に静岡県と山梨県で「ぐるり富士山サイクルツーリズム協議会」を設立、令和6年3月に「フジイチ」ルートを決定。今後、引き続き、安全で快適な自転車通行空間の環境整備の推進やナショナルサイクルルート(NCR)指定に向けた自治体の活動を支援。



出典：ぐるり富士山サイクルツーリズム推進協議会



国道139号から富士山を望む



「フジイチ」のロゴマーク
(令和6年2月決定)

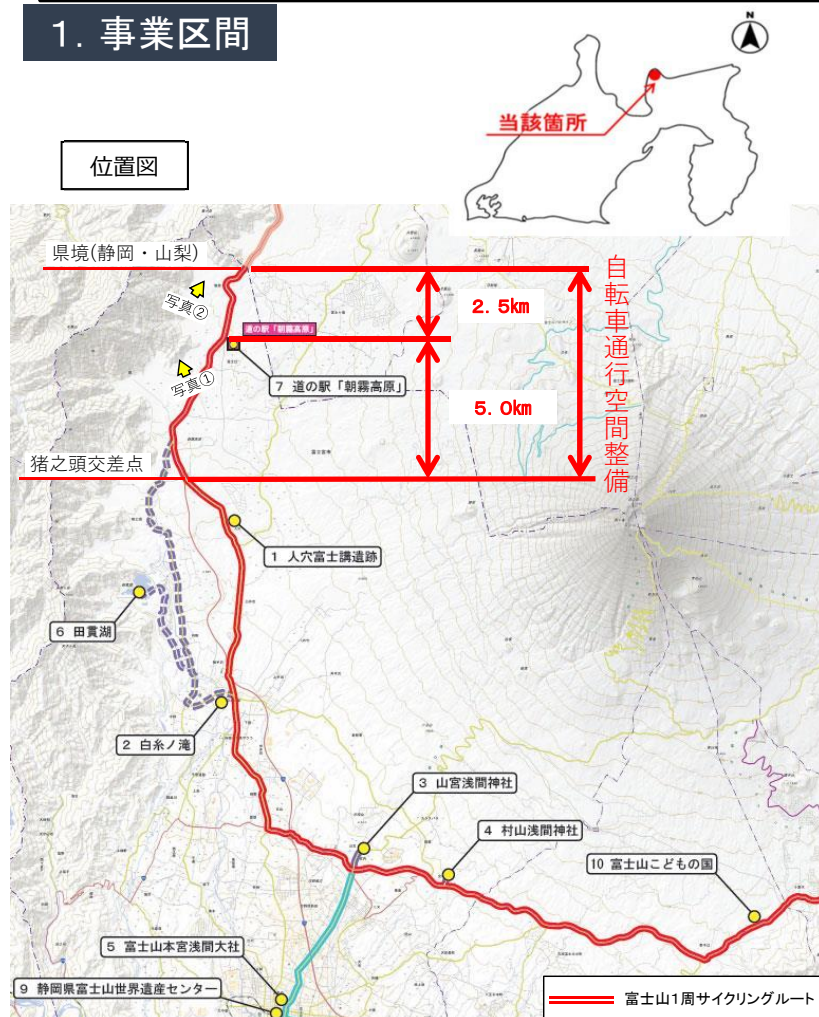
14 自転車の利用環境の整備と活用促進

○富士宮通行空間整備の概要

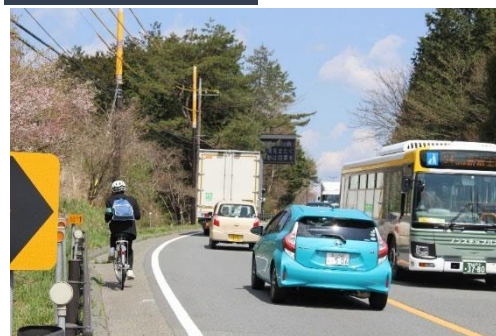
○国道139号においては、朝霧地区の自治会および道路協力団体との議論を踏まえて、学童を含む歩行者及び自転車の安全・安心な通行空間整備(歩行者・自転車交通分離)を目的として、観光サイクリストの受入環境の整備をする富士宮地区通行空間整備事業を令和4年度から事業化し、令和5年度は調査、設計を実施

○R6年度は、用地調査を実施し、一部の用地買収に着手

1. 事業区間



2. 現 況



写真①：自転車通行空間整備箇所

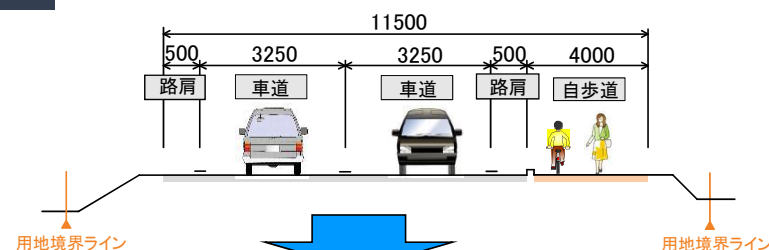


写真②：自転車通行空間整備箇所

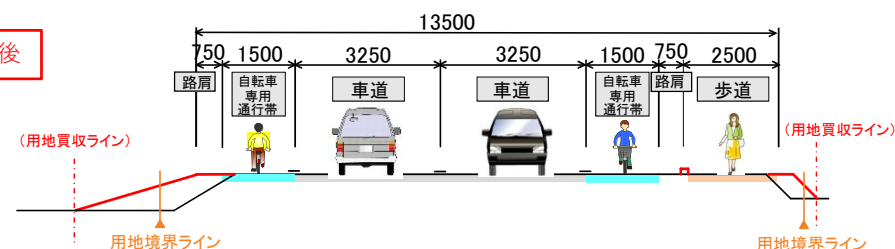
3. 対策内容

自転車専用通行帯の整備（上り線・下り線）

対策前



対策後



14 自転車の利用環境の整備と活用促進

○大井川流域のサイクリングルート

○日本風景街道『大井川流域「南アルプスへの道・お茶の道」』の取組で、サイクリスト向け設備やルートの整備を通し、大井川流域のサイクルツーリズムを推進

○令和6年2月に「大井川流域サイクルツーリズム協議会」にて、サイクリングルートのマップを作成。今後、道の駅や観光案内所などで配布・広報し、サイクルツーリズムの更なる発展を図る

■4ルート(上級者から初心者まで)

金谷駅から大井川沿いを走り島田駅へ戻る

JR東海道本線金谷駅からの自走ルート。前半は大井川沿いの国道を走る。家山駅の先で大井川の対岸に渡り、川根温泉へ。川根温泉には道の駅や足湯があり睡っている。後半は県道を走るが、途中トンネル区間があるので苦手な人は迂回路を使うと良いだろう。そのまま市街地を走りJR東海道本線の島田駅でゴール



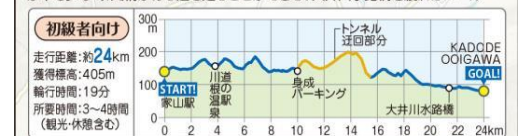
牧之原台地の茶園と旧東海道の島田宿を巡る

KADODE OOI GAWAをスタート。金谷駅の先に旧東海道の石畳が残る道があるので寄ってみよう。茶畑が広がる牧之原台地を走り、世界一の木造歩道橋としてギネス認定されている蓬萊橋を渡る。旧東海道の雰囲気が残る島田宿を散策して、大井川沿いの道を走る。大井川水路橋を渡り、KADODE OOI GAWAでゴール



門出駅から大井川鉄道で輪行サイクリング

KADODE OOI GAWAの最寄り駅である門出駅から輪行して家山駅に向かう。家山駅から川根温泉まで走り、道の駅で食事や足湯を楽しもう。その後は一気に県道を南下する。途中のトンネル区間は、迂回路を設定している。迂回路の方が車も少なく、風情がある道を進むことができる。大井川水路橋を渡ればゴール



家山からレンタサイクルで川根温泉へ

家山駅から徒歩20分の場所にある川根文化センターチャム21でeバイクをレンタルして、川根温泉までサイクリングを楽しむルート。駿遠橋を渡り、国道63号を走る。SLの見える丘公園までは、やや上り坂だがeバイクなので問題ないだろう。道の駅で温泉を楽しむもよし食事や買い物を楽しむもよし。来た道を戻ればゴール



■大井川流域のサイクリングルート図



道の駅川根温泉から見る大井川を渡るSL

ほうらいばし
世界一長い木造歩道橋「蓬萊橋」



出展: 島田市観光協会HP



かどで
大井川鉄道門出駅に
隣接する体験型フードパーク
「KADODE OOI GAWA」

■サイクリスト向け設備



道の駅 川根温泉



KADODE OOI GAWA



15 地域への情報発信

○ホームページやパネル展等において事業内容や進捗状況等を発信

○地域広報誌を活用し、平易な表現で分かりやすく、普段あまり道路事業に関心をお持ちでない方にも特に知っていただきたい取り組みを発信。また、児童向け新聞においては、道路の役割について知ってもらい、興味をもってもらえるよう、東海道を中心とした道路の役割を歴史的背景を含めて発信

○SNSを活用し、工事による交通規制、災害による通行止めや被災、復旧の状況、今後の見通し等をリアルタイムで道路利用者への情報提供を実施(R6.3時点でフォロワー数2.7万人)。さらに、フォロワーに向けて事業PRも実施

ホームページ・SNS

- ・ホームページでは記者発表のほか、道路状況の分かるライブカメラ画像や各事業、施策の進捗状況などを掲載
- ・X(旧Twitter)では災害時の通行止めや被災、復旧、今後の見通し等を発信中



<https://www.cbr.mlit.go.jp/shizukoku/index.html>



https://twitter.com/mlit_shizukoku/

越波の動画を見られます！

パネル展示・動画上映

- ・清水立体や藤枝バイパス事業等のパネル展示や動画上映を事務所1Fロビーにて実施中。令和5年度は静岡・藤枝市内の地域イベントや博物館でパネル展を実施。



事務所1Fロビーの様子



清水立体パネル展の様子(R6.1.27~3.10)

地域広報誌等を活用した地域へのお知らせ

- ・フリーマガジンを活用し季節や事業の進捗に応じ、特に知っていただきたい情報を発信



- ・静岡において古くから道路・街道が人と物の交流、国土及び地域の形成において果たしてきた役割を発信



<https://www.cbr.mlit.go.jp/shizukoku/torikumi/chiikioshirase.html>

16 建設業の課題解決に向けた取り組み

○担い手確保・育成

- 建設業において高齢化等により技能労働者が大量に離職することが見込まれることから、将来を担う若者の入職・定着を促し、人材を確保することが重要。
- 様々なイベントを通して地域や関係機関と協働して建設業をPRすることで担い手確保の取り組みを展開。
- 自治体と合同でのインフラ点検や若手技術者研修などの継続した実施に加え、災害時の迅速な情報収集体制構築に向けたOFF-JT^{※2}によるドローン操縦士資格者育成など担い手育成の取り組みを推進。

■担い手確保

- イベントなどを通して建設業に興味をもってもらえるよう、自治体と協働して「どぼく」をPR。

トンネル構造を知ってもらった模型実験や、イベントを盛り上げた地元中学生による演奏会



演奏会(葉梨中学校:吹奏)

- 車両出動や事業ブースでのPRを通して、親子連れに建設業を身近に体感。



「静岡はたらクルマ展2023」



「しずおか建設まつり」

- 道路メンテナンスサイクルの確立に向けた必要な技術力を身に着けた職員採用のため、土木系学生が各自治体の採用情報へアクセスし易くなるよう「静岡県道路メンテナンス会議」^{※1}を通して、学生向け採用案内パンフの作成や県内道路管理者の採用情報ポータルサイトの改良、採用情報の定期的な更新・合同発信を展開。



パンフレットやポータルサイトで採用情報を定期更新・合同発信

■担い手育成

- 自治体・国職員が参加して双方の技術力向上に向けたインフラ点検の講習会を開催。



自治体向け点検講習会(静岡職員も参加)

- 国若手職員の技術継承のため直轄工事の施工現場を活用した「施工技術研修」を年間を通して実施。



施工技術研修

- 災害に備えて、若手職員を対象にした災害対策用機械や遮断機の操作訓練、ドローン飛行訓練を実施。



災害に備えた操作訓練

ドローン飛行訓練

- ドローンによるICT技術講習(災害復旧時の3次元測量/モデル化)を若手職員(自治体・国)で受講。

中部インフラDXセンター 研修・講習	
DX講習(中級) 集合	
DX講習(中級)は、主に施工者等の技術者向けの研修です。発注者(地方公共団体等の職員)も受講できます。インフラ分野のDX、BIM/CIMおよびIoT施工について、最新の技術や活用事例を学び、生産性の向上等のための課題解決や効果的な活用について理解を深めることを目的としたものです。	
講義名	UAVによる災害復旧による航空測量、および3次元モデル化
学習内容	UAVによる3次元測量、点群データの高速自動処理、自動処理データに基づく3次元設計(土形状の生成)などの技術を用いた、災害復旧の早期把握、応急対策方法の立案、3次元設計データと連携した配・掘をはじめとするIoT機械施工など、災害時に活用できる最新技術を学びます。

ドローンICT技術講習

※1. 静岡県道路メンテナンス会議：静岡県の持続可能な発展を実現するために、静岡県と県下の35自治体に参加して、道路インフラを維持する活動に取り組む組織。

※2. OFF-JT (Off the Job Training)：職場や業務から離れて行われる指導で、講師を招きセミナーの開催、

会場に於いて研修を促進するなど、人材育成手法の1つ

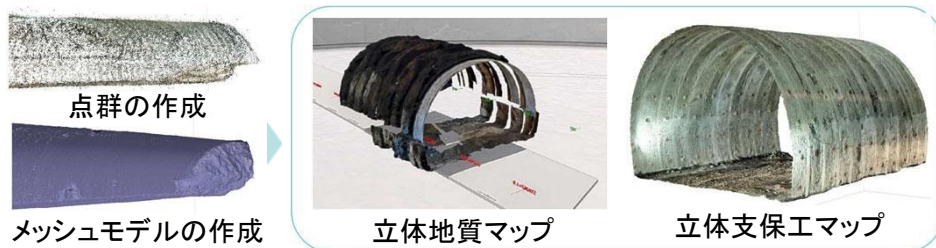
16 建設業の課題解決に向けた取り組み ODX・新技術の活用(Digital Transformation)

- 労働力人口が減少する中、社会資本の効果的な整備を図るため生産性向上が不可欠。
- ODX・新技術・新工法の活用で省人化・安全確保や長時間労働抑制・休日確保など働き方改革に取り組む。
- さらに低炭素で持続可能な道路交通実現のため、CO2削減などによる省エネルギー化の推進やカーボンニュートラル(炭素中立)実現に向けた道路交通のグリーン化(EVの普及推進)などの取り組みを推進。

■3次元点群データを活用した立体マップ作製(SfM技術の活用)

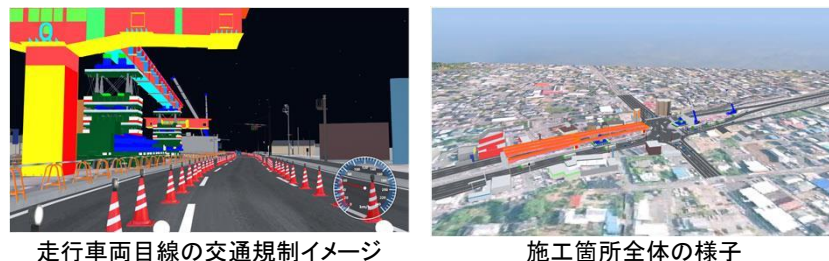
SfM(Structure from Motion)技術とは、移動するカメラから得られる画像から対象地物の形状を復元する方法。これにより撮影した3次元点群データから高度な画像処理によって作成された「立体地質マップ」と「立体支保工マップ」をトンネル断面の計測管理に活用。

切羽断面観察から図面作成・修正の作業を軽減、省人化に繋がり工事中の安全が確保し生産性が向上する。さらに、建設当時の「立体地質マップ」のデータがあれば、維持管理面での生産性も向上する。



■BIM/CIMの活用による建設生産管理システムの効率化

BIM/CIMとは、設計や工事において、3次元モデルを作成・活用することにより、詳細な検討や現地の分かり易い説明が可能になり、作業の効率化や安全性の確保・向上を図る。現地状況を3次元化して、道路利用者目線での工事規制形態の検討・検証にも活用する。



■遠隔臨場(工事等の監督・検査業務における効率化)

監督・検査業務に対して、ウェアラブルカメラやタブレット等の活用によりリモートの「段階確認・材料確認・立会」を実施する。複数の現場でも日程調整し易く、工場製作工程を止めず、臨場に要する労働時間の抑制に寄与し、継続して取り組んでいく。



タブレットの映像を見ながら
遠隔にて検査を実施

■照明灯のLED化等で省エネルギー化を推進

消費電力が少ない道路・トンネル照明灯のLED化等で省エネルギー化を推進し、CO2排出削減を図る。

(R5:99灯、R6:172灯予定)



照明灯LED化(右上写真:更新前)

■「道の駅」におけるEV急速充電器の設置促進

電気自動車・燃料電池自動車等の次世代自動車の普及環境を整備、後押しし低炭素で持続可能な道路交通を実現するため、直轄一体型の「道の駅」において、充電ニーズの高い箇所を中心に急速充電器の設置促進を図る。

【設置済】

- ・道の駅 宇津ノ谷峠(上:静岡側)
- ・道の駅 朝霧高原



急速充電器(道の駅 朝霧高原)

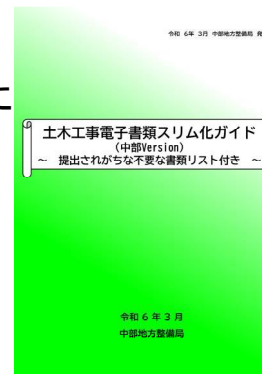
16 建設業の課題解決に向けた取り組み

○働き方改革

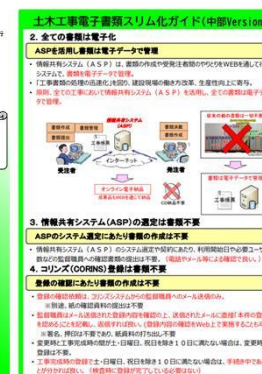
- 建設産業における働き方改革については、長時間労働の是正や週休2日の確保が必要であり、国土交通省として週休2日モデル工事の拡大等を推進。
- 現場レベルでの働き方改革を進めるため、受注者が作成する書類の削減や受注者との意見交換、ウィークリースタンスなどに取り組む。
- 事務所若手職員が働き方改革について検討し、オフィスリノベーションをはじめとする執務環境の改善、業務効率化やコミュニケーションの活性化を図るための取り組みを実施。今後も誰もが働きやすく、働きたいと思える魅力的な職場とするため、事務所全体で多様性を意識した働き方改革を推進。

■現場レベルでの建設産業の働き方改革の取り組み

- 受注者の負担軽減を図る書類削減の定着のために受発注者双方の実務レベルで実施状況を確認
- 現場での具体的な改善策等に関し、受注企業・監理技術者等と意見交換
- ウィークリースタンスを推進するため、受発注者双方で確認し、計画を策定



書類の削減



受注者との意見交換

■静岡国道事務所における魅力的な職場づくり

- 若手職員の提案による働き方改革施策の実現
- 若手職員や女性職員の意見を取り入れた『オフィスリノベーション』
- 就業時間の意識づけのための『終業5分前BGM』



若手職員による検討



オフィスリノベーション

16 建設業の課題解決に向けた取り組み

○安全の確保

- 労働災害の撲滅を目指して、日々の安全活動に加えて、労働基準監督署との合同安全パトロールや事務所全体の安全協議会の開催など、事務所及び工事関係者が一丸となって、安全確保の取り組みを推進。
- 国道1号清水立体尾羽第2高架橋事故のような痛ましい事故を二度と起こさないという決意とそれを決して忘れないために、7月6日を「しずこく安全の日」と制定。工事における作業員等の安全のみならず、道路を利用するドライバーや歩行者、沿道住民、事務所で働く職員や関係者の安全など、事務所に関わるあらゆる安全を追求。

国道1号清水立体尾羽第2高架橋事故



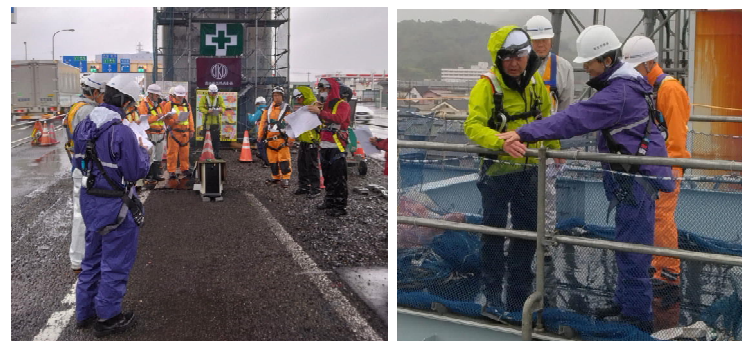
令和5年7月6日 事故発生(2名死亡、6名重軽傷)
事故調査委員会 設置
令和5年9月22日 報告書(中間とりまとめ)
及び再発防止策 公表

しずこく安全の日



- ・毎年7月6日に事故を振り返り、安全第一を再認識する
- ・毎月6日に安全意識の向上について取り組む

労基署との合同安全パトロール



静岡国道事務所工事等安全協議会総会



国土交通省中部地方整備局 静岡国道事務所

〒420-0054 静岡県静岡市葵区南安倍2丁目8番1号

お問い合わせ：TEL 054-250-8900（代表）・FAX 054-252-5747・E-mail: cbr-sizukoku@mlt.go.jp

静岡国道維持出張所 〒421-1221 静岡市葵区牧ヶ谷2075 TEL: 054-278-5181 FAX: 054-277-3467

富士国道維持出張所 〒417-0001 富士市今泉337-1 TEL: 0545-52-5650 FAX: 0545-57-5006

静岡国道事務所ホームページ <https://www.cbr.mlit.go.jp/shizukoku/>

静岡国道事務所公式ツイッター @mlt shizukoku

静岡	検索
----	----

